

2020年4月12日～10日

運動、憲法・改憲策動、外交安保・自衛隊、沖縄、北東アジア、政局、コロナ、大林宣彦監督死去

性暴力撲滅フラワーデモ開始1年 「声を上げ続けよう」

2020/4/11 18:28 (JST)4/11 18:41 (JST)updated 共同通信社

性犯罪を巡る無罪判決が相次いだことをきっかけに、花を手に性暴力撲滅を訴えてきた「フラワーデモ」が11日、初開催から1年を迎えた。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、この日はツイッター上で実施。「声を上げ続けよう」とハッシュタグ(検索目印)「#0411 フラワーデモ」を付け、参加者が思いをつぶやいた。

ツイッターのフラワーデモ公式アカウントは、主催者側に寄せられた声などを紹介した。

フラワーデモは、2019年4月11日、作家の北原みのりさんや出版社「エトセトラブックス」代表の松尾亜紀子さんらの呼び掛けで始まった。

「声を上げ続けよう」 #0411 フラワーデモ 初開催から1年 ツイッター上で実施

東京新聞 2020年4月12日 朝刊

性犯罪を巡る無罪判決が相次いだことをきっかけに、花を手に性暴力撲滅を訴えてきた「フラワーデモ」が十一日、初開催から一年を迎えた。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、この日はツイッター上で実施。「声を上げ続けよう」とハッシュタグ(検索目印)「#0411 フラワーデモ」を付け、参加者が思いをつぶやいた。

ツイッターのフラワーデモ公式アカウントは、主催者側に寄せられた声などを紹介した。過去に性暴力を受けた人が「デモを通じて味方になってくれる方々に出会えたから、死にたい気持ちや自分を傷つけたい気持ちを抑えて生きていられる」とつぶっている。

横浜や三重、大分などデモに取り組む各地のアカウントも参加。個人からも被害者に向けて「あなたは悪くない」とのメッセージや、花の写真をアップして連帯を表明する投稿が相次いだ。

フラワーデモは、二〇一九年四月十一日、作家の北原みのりさんや出版社「エトセトラブックス」代表の松尾亜紀子さんらの呼び掛けで始まった。その後は毎月、花を手に街頭に集まり、女性らが自身の性暴力被害を語った。一年間で四十七都道府県全てに広がった。

くらしナビ・ライフスタイル 「#KuToo」 企業を動かす

毎日新聞 2020年4月10日 東京朝刊



JALの新制服＝黒川将光撮影

日本航空(JAL)は4月1日から、女性の客室乗務員(CA)らにヒールのある靴を着用するよう定めていた服装規定を見直

した。今後はヒールのないローファーなども可能にした。職場で女性のみヒールのある靴を強制するルールに対しては昨年、女優でライター石川優実さんがツイッター上で反対の声を上げ、「#KuToo」というハッシュタグで賛同が広がった。機能性や安全性より「女性らしさ」が重視される職場の慣例を見直そうという動きは、航空業界以外でも広がっている。

残り 1159 文字 (全文 1384 文字)

日本人の6割が政府の新型コロナ対応に不満 国際世論調査

産経新聞 2020.4.10 07:18

各国の世論調査機関が加盟する「ギャラップ・インターナショナル」が実施した調査で、新型コロナウイルス感染拡大に「自国政府はうまく対処していると思うか」との質問に「思わない」「全く思わない」と答えた日本人は合わせて62%に上った。「とても思う」「思う」は23%にとどまり、回答した29カ国・地域中28位だった。

調査は3月9～22日に30カ国・地域の2万8502人を対象にインターネットなどで実施した。中国は含まれていない。日本は日本リサーチセンター(東京)が行ったが、緊急事態宣言前の調査となる。

日本政府がうまく対処していると思うかとの質問には「とても思う」(4%)「思う」(19%)は少数で、「思わない」(35%)「全く思わない」(27%)が計6割を超えた。

「自分か家族が感染するかもしれないと思うか」という質問で「思う」は52%。30カ国・地域中26位で、他国に比べて危機意識は低かった。

「感染防止のため自分の人権をある程度犠牲にしてもかまわないと思うか」との質問に「思う」と答えた日本人は32%で、30カ国中最下位だった。

緊急事態の改憲論議 自民、野党に呼びかけ コロナ拡大踏まえ

日経新聞 2020/4/10 22:00

自民党は10日の憲法改正推進本部で、有事の際の政府権限を強める緊急事態条項を創設する憲法改正案について協議した。新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、国会で改憲論議を始めるよう野党に働きかける。



自民党憲法改正推進本部であいさつする

細田本部長(10日、党本部)

改憲本部の会合に先立つ3日、衆院憲法審査会の筆頭幹事を務める自民党の新藤義孝氏が野党に憲法審の開催を打診した。大規模災害など緊急時に国会の立法機能を維持する方法に関する議論を求めた。

緊急事態での私権制限に慎重な立憲民主党などの野党は、憲法審の幹事懇談会に応じなかった。新型コロナに便乗した強行策だとも批判した。

緊急事態条項の創設は連立を組む公明党も後ろ向きだ。北側一雄

副代表は9日の記者会見で「あえて権利・自由を制約する根拠を設ける必要性はない」と語った。

自民党は2018年3月にまとめた4項目の改憲案に、緊急事態条項を盛り込んだ。有事での内閣の権限強化のほか、国政選挙ができない場合に議員任期を延長できる内容などを入れた。

改憲本部が10日に開いた会合で講演した防衛大の山中倫太郎教授は海外で憲法に緊急事態条項を設けている国があると説明した。出席した細田博之本部長は「非常事態の問題を現行法や憲法でどう解決するかは我々の責務だ」と強調した。

安倍晋三首相も7日の衆院議院運営委員会で国会での改憲議論を促した。「緊急時に国家や国民がどのような役割を果たし、国難を乗り越えるか。憲法にどう位置付けるかは極めて重く大切な課題だ」と述べた。

与党、緊急事態の改憲議論に意欲 野党は後ろ向き

産経新聞 2020.4.10 21:41

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、与党内で「緊急事態」をテーマに憲法改正を考える動きが出てきた。自民党は10日、「憲法と非常事態・緊急事態」をテーマに憲法改正推進本部の会合を開催。公明党も本会議の定足数などに関する議論には前向きな見解を示す。ただ、野党は改憲に慎重な態度を崩していない。

「政府と国会はウイルスをめぐるさまざまな問題を解決する責務がある」

自民党の憲法改正推進本部の会合の冒頭、細田博之本部長は一致団結して国難と向き合う必要性を強調した。約50人が参加したこの日は防衛大の山中倫太郎教授（憲法学）が講演。新型コロナを踏まえた緊急事態対応の在り方を協議した。

政府が発令した緊急事態宣言は、不要不急の外出を強制的に止める効力まで有していない。このため、出席者からは「現行憲法下で禁止や命令はどこまで許されるのか」「なぜ日本の憲法には（他国のように強制を担保する）緊急事態条項が存在しないのか」などの質問が相次いだ。

自民党は感染拡大を防ぐべく部会など多くの会合を控えているが、緊急時だからこそ語るべきテーマだと判断してこの日の開催に踏み切った。

自民党は既に緊急事態条項を憲法に新設する案をまとめている。公明党は私権制限を伴う緊急事態条項の新設には慎重な姿勢だが、緊急時の国会の定足数や国会議員の任期に主眼を置いた憲法論議には前向きだ。北側一雄中央幹事会長は9日の記者会見で「緊急事態が生じたときに国会が機能を果たせるようにすることは大事だ」と述べた。

憲法56条は衆参両院の本会議開会について「総議員の3分の1以上」と定足数を規定している。衆院の定数は465で定足数は155。参院の定数は245で定足数は82となる。

国会での緊急事態への対応 自民が党内で議論

ANN2020/04/10 16:25



自民党は緊急事態宣言が出されたことを受け、国会開会に必要な議員数など憲法の規定を議論するべきだと主張し、野党側が応じないなか、党内での議論を進めています。

憲法改正を巡り、自民党は10日朝の会合で、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた緊急事態の対応について議論しました。自民党はこれまで野党側に対し、「緊急事態における国会機能の確保」をテーマに憲法審査会の開催を呼び掛けています。緊急事態においては、国会が通常通り開会することが難しい状況が起こり得ることも想定し、本会議の議決に必要な議員数や、衆議院議員の任期といった憲法の規定について議論するよう求めています。しかし、野党側は「コロナウイルスへの対応が先だ」として拒否しています。安倍総理大臣は7日の国会で「緊急時の（国家や国民の）役割について、憲法にどう位置付けるかは極めて重く大切な課題だ」と強調しましたが、野党側の協力が得られる見通しは立っていません。

国会、オンライン採決なぜできず？ 憲法が壁、与野党腰重く

時事通信 2020年04月12日 07時17分



衆院本会議場の採決風景。議員が密集している＝10日、国会内

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国会でも密閉・密集・密接の「3密」回避が課題となっている。一部には、オンラインを活用した「遠隔投票」による採決実現を求める意見が出ているが、機運は高まっていない。憲法が議員の国会への「出席」を前提としていることが背景にある。

自民党若手議員は9日、衆院議院運営委員会の高木毅委員長（自民）と面会し、「ネット中継視聴やウェブ会議への参加も出席と見なす」ことなどを求める国会改革を提言。オンラインによる採決実現も掲げた。高木氏は「皆さんの思いはもっとも。できるだけの対処はしたい」と応じた。

しかし、実際にはハードルが高い。日本国憲法には本会議開会に「総議員の3分の1以上の出席」を求める規定があるためだ。自民党中堅は「ここで憲法改正と言い出せば悪のりになる」と指摘。採決に関しては不正や間違いの防止、セキュリティ確保などの課題もあり、立憲民主党中堅が「システム整備に費用がかかる」と語るなど、与野党とも腰は重い。

重度障害を持つれいわ新選組の船後靖彦参院議員にとって感染リスクの低減はより切迫した問題だ。船後氏は先月18日の参院文教科学委員会でIT技術活用による遠隔からの審議参加を要望したが、実現はしていない。感染への危機感から船後氏は一時、国会出席を見合わせた経緯もあり、「災害など緊急事態で一カ所に集まるのが難しい状況になった際は、（遠隔審議は）誰にとっても有用だ」と訴えている。

海外では電子投票に踏み切った議会もある。ブラジルでは感染が広がる中、上下両院で電子議事を導入。ビデオ会議で討論し、スマートフォンのアプリなどを使って投票を行うもので、実際に採決も行われた。

一方、安倍晋三首相による7日の緊急事態宣言の発令を受け、

衆院では密集を避けるために本会議への出席者を定数ぎりぎりまで減らし、それ以外の議員は採決前後に本会議場に入ることを申し合わせた。議場に比較して議員数が少ない参院では議員が間隔を空けて座ることを決定した。しかし、いずれも抜本対策とは言い難く、テレワークが進む民間と比べて動きが鈍いのが実情だ。

超党派議連、靖国参拝見送りへ 春季例大祭、新型コロナで

2020/4/11 16:53 (JST)4/11 17:05 (JST)updated 共同通信社

超党派の議員連盟「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久元参院副議長)は、東京・九段北の靖国神社の春季例大祭(21～22日)に合わせた一斉参拝を見送ると決めた。新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた。関係者が11日、明らかにした。

議連は毎年、春と秋の例大祭、8月の終戦の日にそろって参拝しており、中止は異例の対応。2017年の秋季例大祭が衆院選と重なり、参拝を12月に延ばした例はあるが、1981年の議連発足後、これまで年3回の参拝を続けてきた。

昨年10月の秋季例大祭では、国会議員98人と秘書ら代理出席を合わせ、165人が一緒に参拝した。

辺野古工事、設計変更申請へ 防衛省、検討プロセス終了

時事通信 2020年04月10日 20時13分

防衛省は10日、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古への移設に関する「環境監視等委員会」を省内で開き、検討プロセスを終えた。同省は既に、埋め立て海域で見つかった軟弱地盤の改良のための工事計画変更について技術的な検討を終了しており、月内にも沖縄県に変更を申請する。

会議では、計画変更が周囲の景観などに及ぼす影響について聴取し、委員の了承を得た。施工区域内で絶滅危惧種のジュゴンとみられる海洋生物の鳴き声が確認されたが、同省は監視船による保護措置を強化し、工事を続ける方針を示した。

同省によると、設計変更に伴い、埋め立て工期は5年から9年3カ月に延び、移設完了には12年を要する。ただ、埋め立てに反対する県は申請を認めない姿勢を示しており、実際の供用開始はさらにずれ込む見通しだ。

辺野古の設計変更「環境影響変わらず」月内にも申請へ

日経新聞 2020/4/10 20:46

米軍普天間基地(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古移設を巡り、防衛省は10日、周辺環境への影響を議論する有識者会議を開いた。軟弱地盤の改良工事に伴う設計変更の影響について、同省は「変更前と比べて同程度またはそれ以下」との見解を示し、有識者会議から異論は出なかった。政府は月内にも沖縄県に設計変更を申請する。

米軍普天間基地跡地「医療産業など整備を」政府有識者会議

NHK 2020年4月10日 15時38分



沖縄のアメリカ軍普天間基地などの跡地利用を検討する政府の有識者会議は、医療産業の集積地や最先端技術の研究拠点として整備することなどを盛り込んだ提言をまとめた。

普天間基地や那覇軍港など沖縄県にあるアメリカ軍施設の返還が実現した場合に備え、政府は去年6月、吉本興業の大崎洋会長ら5人のメンバーによる有識者会議を設け、跡地利用の在り方などについて検討を進めてきました。

有識者会議がまとめた提言によりますと、医療産業や健康関連企業の集積地とすることや、AIや自動運転など最先端技術の研究拠点とすること、さらに、国内外のさまざまな分野で活躍する人材に短期間移住してもらい、新たなビジネスや人材育成の拠点とすることなどが盛り込まれています。

また、沖縄の文化や自然を生かした町並みを整備することで、観光資源や地元の人たちの憩いの場とすることも提言しています。跡地利用については今後、地元の地権者らが協議して決めることになっていて、有識者会議の座長を務めるSPF海洋政策研究所の角南篤所長は「沖縄ならではの空間の実現に向けた議論に期待したい」と述べました。

「慰霊の日」は規模縮小 沖縄知事、新型コロナで

日経新聞 2020/4/10 16:14

沖縄県の玉城デニー知事は10日の記者会見で、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、6月23日の「慰霊の日」に予定する沖縄全戦没者追悼式について「若干、規模を縮小することになると思う。これから具体的に検討を進める」と述べた。

追悼式には被爆地の広島、長崎両市長を招待する意向を明らかにしていた。来賓についても改めて検討する必要があるとの認識を示した。[共同]

米軍普天間飛行場 泡消火剤が基地の外に漏出 発がん性物質含む

毎日新聞 2020年4月10日 23時21分(最終更新 4月10日 23時28分)



米軍普天間飛行場近くの側溝に流れ出た白

い泡消火剤＝宜野湾市真栄原で2020年4月10日午後8時26分、竹内望撮影

10日午後4時40分ごろ、沖縄県宜野湾市の中心部にある米軍普天間飛行場で使用されていた泡消火剤が基地外に流れ出た。泡

消火剤には発がん性が疑われる化学物質のPFOSが含まれている。米軍から「かなりの量が基地外に漏れ出した」と連絡を受けた防衛省沖縄防衛局が明らかにした。

泡消火剤が流れ出たのは宜野湾市真栄原（まえはら）3付近の普天間飛行場南側の側溝（幅約1・5メートル）。側溝は比屋良川につながっている。市消防本部によると、気分が悪くなった人などはいない。

米軍は10日夜、「格納庫内の消火システムが作動した」と明らかにした。

沖縄の米軍基地では過去にも、有害物質を含む泡消火剤が基地外に流れ出る事故が起きている。【遠藤孝康、竹内望】

しんぶん赤旗 2020年4月12日(日)

有害泡消火剤が大量漏出 沖縄・普天間基地 幼稚園にも飛散 党県議団が現地調査

米海兵隊普天間基地（沖縄県宜野湾市）で10日午後、格納庫内の消火システムが作動して泡消火剤が放出され、人体に有害な有機フッ素化合物「PFOS（ピーホス）」を含む泡消火剤が基地外に大量に漏出しました。消火剤の泡は、基地の南側周辺に広範囲に広がり、人の頭より大きな泡の塊が基地外に飛散したといえます。

沖縄県内の米軍基地から泡消火剤の漏出事が相次ぎ、飲料水の汚染が深刻な問題になっています。

沖縄県によると、米軍から沖縄防衛局に通報があったのは、10日午後4時40分ごろ。その約5分後、同基地の滑走路南端に隣接する第2さつき認定幼稚園でも泡の飛散に気付きました。園のそばの側溝では大量の泡が流れ出していました。当時、園内には約130人の園児がいました。

また、同幼稚園に隣接する、さつき企業内保育園の糸数すが園長（60）はMV22オスプレイの駐機場付近に泡の塊を目撃したと証言しました。

11日朝、日本共産党県委員会と党県議団が現地調査。幼稚園から約900メートル離れた比屋良川沿いでも、泡の残留が確認されました。とぐち修県議団長は、「住宅地のど真ん中に基地が存在する危険性が改めて浮き彫りになった」と、普天間基地の即時撤去の重要性を強調しました。

しんぶん赤旗 2020年4月12日(日)

コロナ危機乗り越え平和で豊かな沖縄へ 共産党県委 県議選政策アピール

日本共産党沖縄県委員会は、県議選（5月29日告示、6月7日投票）の政策アピール、「新型コロナウイルス感染症問題を県民一丸となって乗り越えよう！ 基地のない平和で誇りある豊かな沖縄へ—玉城デニー県政を支える『オール沖縄』の躍進と日本共産党7名全員の勝利をよびかけます」を発表しました。

新型コロナウイルス問題について「県民の声をきき、政府や行政へ対策を提案し、県民一丸となって、この危機を突破するために力をつくします」と表明しています。

県議選の3大争点として、

「新基地ストップ・普天間基地撤去の民意を生かす政党・議員か、民意を無視する政党・議員か」—

「デニー県政を支え、県民の暮らしを守る政党・議員か、県政を妨害し、県経済と県民の暮らしをないがしろにする政党・議員か」—

「安倍暴走政治に、正面から対決できる政党・議員か、国の悪政を県政に持ち込む政党・議員か」— を強調しています。

(1)新基地建設を断念させる(2)子どもの貧困解消、暮らしと福祉の充実(3)自立経済の発展、県民所得の向上(4)首里城の早期再建(5)憲法9条を守り、「戦争する国」づくりと自衛隊強化をストップ(6)豊かな自然環境を守り、持続可能な社会実現と防災の抜本的強化—などの重点政策を掲げています。

(1)共同を大切にし、共同の力で政治を変える(2)県民の苦難軽減へ、住民の「命綱」として活動する(3)「アメリカいなり」「財界中心」という日本の政治のゆがみをたす(4)大国の横暴に屈せず、はっきりもの言える自主独立—と、党の値打ちを紹介しています。

しんぶん赤旗 2020年4月12日(日)

沖縄県議選勝利へ募金と支援をお願いします 4月11日 日本共産党中央委員会・沖縄県委員会

沖縄県議選が5月29日告示、6月7日投票でたたかわれます。

沖縄県党は新型コロナウイルス感染が広がるなか、県民の不安と願いに寄りそい、いのちと暮らしを守る活動と選挙勝利へ全力をあげています。

県議選は、辺野古新基地建設を断念させ、総選挙を前に安倍自民党政権を終わらせ、新しい政治への道を開く流れを広げていく上でも、きわめて重要な選挙です。「日本共産党・オール沖縄」対「安倍政権・自公とその補完勢力」の対決構図となっており、わが党は、7予定候補（現有6）の全員勝利と玉城デニー知事と党の過半数絶対確保をめざしています。

政府・自民党は、県議会（定数48、現在、知事と党26、野党20、欠員2）の与野党逆転へ、官房長官、党幹事長らが来県をくりかえすなど、必死のテコ入れをしています。

コロナ対策のうえでも訪問・面談に代えての資料送付料、ビラ的一般紙折り込みなど、これまで以上に多額な経費が生じています。

全国のみなさんのご支援を心から訴えます。

○沖縄の親戚、友人、知人に電話やSNSで、党公認候補7氏と「オール沖縄」の候補者の支持を広げてください。また、支持を広げるようお願いしてください。

○選挙募金にご協力ください。

〈募金の振込先〉

募金は次の口座に郵便振替をお願いします。

●00170—7—98422 日本共産党中央委員会

●02060—0—37894 日本共産党沖縄県委員会

通信欄に、住所、氏名、職業、および「県議選挙募金」または「沖縄支援」と明記してください。送金手数料はご負担願います。〈支援の連絡先〉

日本共産党沖縄県委員会 〒900—0012 沖縄県那覇市泊2の4の7

電話 098 (862) 6232
ファクス 098 (862) 6487

沖縄知事、辺野古デモに「3密にならないように」

産経新聞 2020. 4. 10 13:07

沖縄県の玉城デニー知事は10日の記者会見で、新型コロナウイルスの感染拡大に関連し、米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）の移設先である名護市辺野古で移設反対派が行っているデモ活動について「県民それぞれに判断し、賢明な行動をとっていただきたい。必要であればマスクもし、（密閉、密集、密接の）3密にならないよう慎重に考えていただきたい」と述べた。

玉城氏は同じ会見で「人が集まる状況を避けるために不要不急の外出は控えるよう」呼びかけたが、デモの可否については言及を避けた。一方、県内で広く行われている無尽講のような相互扶助を目的とした定期会合「模合」に関しては「感染が広がるリスクが高いため、なにとぞお控えいただけるよう重ねてお願いをしたい」と強調した。

玉城氏はまた、6月23日に開かれる沖縄戦全戦没者追悼式について問われ、「規模、来賓の方々をどうするかということについては協議をしていきたい」と説明した。その上で「おそらく若干規模を縮小してやることになるのではないかと付け加えた。

政府は近く、辺野古の軟弱地盤を改良するため、設計変更申請を県に行う方針だが、その際には移設反対派が県庁などに詰めかけ、座り込みを行うことも想定される。この点に関し、玉城氏は「沖縄県のコロナウイルス感染状況や、政府が決定した新型コロナウイルス対処方針などを踏まえ、事業者（政府）において適切に判断をしていただきたい」と述べ、感染防止の観点からも申請を見合わせるべきとの認識を示した。

河野防衛相、防衛産業の事業継続へ新型コロナ対策支援

産経新聞 2020. 4. 10 20:25

河野太郎防衛相は10日の記者会見で、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急事態宣言が出されている中、国内の防衛産業が国防に必要な事業を継続できるよう、消毒液購入など感染予防対策を支援する考えを示した。対策に要した経費を装備品調達価格に含むことを検討する。

その他の必要な支援についても「（各企業と）個別具体的に相談させていただく」と強調した。政府の新型コロナ対策の基本的対処方針では、事業継続が求められる事業者として航空機や潜水艦といった防衛産業も含まれている。

政府自民、次期戦闘機の輸出議論 憲法や武器輸出規制に抵触の恐れ

2020/4/11 21:00 (JST)4/12 07:23 (JST)updated 共同通信社

政府と自民党が航空自衛隊F2戦闘機の後継となる次期戦闘機の海外輸出案を3月から議論し始めたことが11日、分かった。複数の関係者が明らかにした。総開発費が2兆円を超えると見込まれるため、生産数を増やしてコスト削減を図る狙いがある。だが、浮上した輸出案は、憲法の平和主義や武器輸出を規制する「防衛装備移転三原則」に抵触する恐れがあり、実現は見通せない。

政府は次期戦闘機の「日本主導の開発」を掲げ、米軍や米軍事産業への過度な依存から脱却することを目指している。空自は最大でも100機程度の導入を想定。1機200億円以上になる可能性がありコスト削減は重要課題となる。

韓国提案、トランプ米大統領が拒否 駐留費負担13%増

時事通信 2020年04月12日00時59分

【ワシントン時事】ロイター通信は10日、2020年以降の在韓米軍駐留経費の韓国側負担をめぐる交渉で、トランプ大統領が韓国側の提案を拒否したと報じた。現在の負担額から少なくとも13%増やす内容だったという。交渉が長期化すれば、米韓同盟の結束に影響を及ぼす恐れもある。

昨年末の交渉期限は既に切れており、在韓米軍で働く韓国人の一部は1日、無給休職に追い込まれた。韓国側の交渉代表は3月末、協議が「最終段階」を迎えたとの認識を示していたが、同盟国の負担増を訴えてきたトランプ氏は交渉の妥結を受け入れなかったとみられる。

米大統領、駐留費の韓国提案拒否 19年比13%増も

2020/4/11 08:24 (JST)共同通信社



トランプ米大統領 (AP=共同)

【ワシントン共同】トランプ米大統領が4月初旬、2020年以降の在韓米軍駐留費の負担割合を巡る韓国側の提案を拒否したことが10日分かった。提案額は20年の負担額を19年比で約13%増やす内容だった。関係国筋が共同通信の取材に明らかにした。交渉がさらに長期化する恐れがある。

複数の韓国メディアは1日、米韓両国が実務レベルの交渉で暫定的に合意したと報道。関係国筋によると、トランプ氏はホワイトハウスで1日、ポンペオ国務長官、エスパー国防長官と会談しており、暫定合意直後に拒否を決断した可能性がある。

米軍駐留費、韓国の負担増「不十分」 トランプ氏が拒否

日経新聞 2020/4/11 12:43



トランプ米大統領は在韓米軍駐留経費

の米側負担の軽減にこだわる=ロイター

【ワシントン=永沢毅】2020年以降の在韓米軍の駐留経費を巡る米国と韓国の交渉で、韓国側の提案をトランプ大統領が拒否していたとロイター通信が10日報じた。提案は韓国側の負担を19年比で少なくとも13%増やす内容だったという。両国間の協定は19年末に期限切れとなっていたが、交渉は一段と不透明さを増している。

韓国メディアは19年の駐留経費から1~2割増で調整が進んでいると報じてきたが、トランプ氏はさらなる上積み求めている

とみられる。11月の大統領選を控え、米国の負担減をアピールする狙いがある。

中国の軍事研究者たちはこの20年、生物兵器開発に注力してきた

JAPAN Forward FOMonika Chansoria 2020.04.08
11:22 pm Leave your thoughts



中国の独立系メディア「財新」は、中国の研究所が2019年12月末までに謎のウイルスを非常に高い感染力の新たな病原体として確認していたことを明らかにした。ウイルスは、後にCOVID-19として識別された。しかし、研究所は当時、さらなるテストの中止、サンプルの破棄、そして情報を可能な限り秘匿するよう命じられた。

今回のパンデミックの発信地である中国・武漢の衛生当局は、2020年1月1日以降、原因不明のウイルス性肺炎を特定するサンプルを破壊するよう研究所に要求したのだ。中国政府は、人から人への感染が起きている事実を3週間以上も認めなかった。

「財新」は、非常に重要な初期の数週間に、こうした致命的で大規模な隠蔽工作が行われた明確な証拠を提示し、それによって大流行、すなわち、その後、世界に広がり文字通り「世界閉鎖」を引き起こした大流行を制御する機会が失われたと結論付けた。

『超限戦』—ルールを超えた戦争

20年以上前から中国では軍事研究の分野で、西側諸国によって定められたルールを超えた戦争の準備をすべきであるとの主張がなされてきた。今、改めてそれらの文献を検証するのは意義があることだろう。

1996年、中国人民解放軍空軍の2人の将校、喬亮（少将）と王湘穂（大佐）は、台湾を威圧するために行われた軍事演習に参加した。演習は、台湾総統選挙の準備が行われている最中に実施された。すぐに米国はこの地域に2隻の空母部隊を派遣し、世界は、東アジア地域における大国の勢力争いが復活したのを目の当たりにした。

それをきっかけに、2人の将校たちは中国東南部の福建省にある小さな村で研究を始めた。そして、最終的に、『超限戦：対全球化時代戦争と戦法的想定』（ルールを超えた戦争：グローバル時代における戦争と戦法の評価）と題した著書を解放軍文芸出版社から共著で出版した。

『超限戦』の中心的テーマは、中国が「自衛のためにすべての境界と規制を超える戦争」を行う準備をすべきであるということだ。喬亮と王湘穂は著書の中で、既存の戦争についてのルールや国際法、国際協定は、西側諸国がつくり、米国が新時代の軍事技術と兵器の競争をリードしていると主張する。20年以上前に書かれた本の中で、喬亮と王湘穂は、巨額な開発費を要する最先端の兵器が中国経済の崩壊を招きかねないと言及した。

手段を選ばぬ戦争の革命

『Unrestricted Warfare（際限なき戦争）』と題した英訳版はさ

らに、地理的な安全は時代遅れの概念であると述べた。そのうえで、国家の安全保障に対する脅威は、国境を越えた侵略からではなく、非軍事的行動からもたらされる可能性がある」と強調。安全保障には、地理、政治、経済、資源、宗教、文化、情報、環境、そして地球に近い範囲の宇宙空間が含まなければならないと主張した。

化学兵器、生物兵器、地雷の禁止など、戦争を規制する法を受け入れるか否かは、自国の国益に合致しているか否かに左右されていると力説。大国は他国をコントロールするために、化学兵器と生物兵器を禁じていると言明した。

これらの議論から導き出される核心は、中国は西側諸国が数十年かけて作り上げた国際法や規範に縛られることなく、自由に意思決定をし、戦争の手段を選択すべきであるということだ。『超限戦』は、枠にとらわれず思考せよ、と主張している。

最も重要なのは、『超限戦』が敵の脆弱な部分を予想外の方法で狙うことを目的とした非対称の戦争（交戦者間の戦力、戦術などが大きく異なる戦争）の概念を強調した点だ。これには、ゲリラ戦争やテロ行為、ネットワークへのサイバー攻撃が含まれる。喬亮と王湘穂は、戦闘以外の行動を含んだ戦争、そして非軍事と軍事行動を組み合わせた「戦争の革命」が必要だと訴えた。戦争は、ステルス戦闘機と巡航ミサイルの融合にとどまらず、生物化学や財政、そしてテロ行為を含むかもしれないという憂慮すべき主張を展開した。

バイオテクノロジーの優位性獲得戦争

10年以上後の2010年10月に新華社通信から出版された『制生権戦争』（バイオテクノロジーの優位性獲得戦争）は、生物学が未来の戦争に与える影響について論じた。

中国人民解放軍第三軍医大学の主任医師である郭継衛教授によって書かれたこの本では、伝統的な軍事的思考の衰退に焦点を当て、軍事的思考の新たな傾向、目に見えない戦場、そして予期せぬ変化に着目した。

その後、2015年に、当時の人民解放軍軍事医学科学院の院長であった賀福初は、生物学が国防上の新たな戦略的指揮において高い地位を占めるだろうと論文で主張した。これは生体素材から、「脳を制御する」兵器にまで及ぶ。その後、賀福初は、北京に本部を置く軍の最高レベルの研究所、人民解放軍軍事科学院の副院長に就任した。

2015年10月の軍機関紙「解放軍報」で言及されているように、過去20年間の中国の文献は、生物学、工学、情報技術の相互統合が将来の軍事革命の新しい戦略的ドクトリンになる可能性を強調している。これらの文献は一貫して、生物の兵器化が非伝統的な戦闘様式とともに新時代の戦闘の中心になると述べている。

戦争の7領域に入る生物学

新時代の防衛分野でもっとも重要なのは生物学の分野だ。生物の多様性と技術革新は、生物工学的軍事革命を再定義するだろう。2016年以来、中国中央軍事委員会は軍事脳科学、高度な生物模倣システム（バイオミメティクス）、生物学と生体素材、そして新時代の生物学技術に資金を提供してきた。

さらに重要なことは、第一線から引退した将官で人民解放軍国防大学の前学長、張仕波は2017年の『戦争新高地』（国防大学出

版局)で、生物工学が戦争の新たな7領域のひとつだと言明。現代の生物工学の発展が、「特定の民族への遺伝的攻撃(特定種族遺伝子攻撃)」へとつながる兆候を示し始めていると訴えている。最近では、国防大学が発行した権威ある書物である2017年版『戦略学』に、軍事闘争の領域としての生物学に関する新たな章が導入された。そこには、「特定の民族への遺伝的攻撃」を含む、将来的な生物工学的戦争について説明されている。

現代の生物工学と遺伝子工学における進歩は、憂慮すべき影響を軍事情勢に与えているのだ。同書は、生物学の進歩が戦争の形態、及び性格に変化をもたらしていると一貫して主張、戦略分析と研究を通して、中国軍のこの分野への関心をうかがい知ることができる。

中国の第13次5カ年計画

軍事と民間の融合に関する中国の国家戦略(軍民融合)は、生物工学を優先事項にあげている。その結果、2017年9月の軍事と民間の統合開発に関する第13次5カ年特別計画が、党中央委員会、中華人民共和国国務院、中央軍事委員会で策定され、中国は軍事と民間の統合開発戦略の完全な実施に向けて動き出した。

この2017年の計画の主な課題は、主要な技術—軍事—民間統合プロジェクトの実行にある。

軍民融合に携わる一連の企業は、国家研究開発計画にしたがって生物工学の分野でいくつかの展開を行っている。それらの技術はデュアルユース(軍事と民間の双方に用いることのできる技術)が可能であり、研究開発は益々加速している。科学的、技術的成果における新しい生産性と、軍事的有用性が形成されている。

この計画はまた、軍民双方の科学技術革新を後押しし、基礎研究と最先端の技術研究のバランスを調整することを目的としている。したがって、国防研究プロジェクトの支援に重点をおきながらも民間の基礎研究を行うため、基礎研究の軍民統合特別基金が設立された。生物工学的な学問の領域を超えた研究や、軍事に応用するための破壊的技術(disruptive technologies)の研究結果が期待されているのだ。

この記事で詳しく言及したように、この20年ほどの間、中国では軍事思想家と研究者によって戦争における生物工学的分野の重要性が指摘されてきた。現在のCOVID-19の状況と、この背景を考慮すると、中国軍の生物工学に対する関心を研究することは、ますます重要になっている。

中国の軍事戦略家たちが「遺伝子兵器」と「無血の勝利」の可能性に言及していることは確固たる事実だ。中国の研究活動とその倫理観への疑問、不透明性のために、この問題はますます難しいものになっている。

上記で引用、言及した資料は、化学兵器や生物兵器などの「国際法および戦争の規則によって許可されていない兵器」を含め、可能な限り多くの兵器を保有し、使用をためらわない中国の動きを擁護するものだ。

これらの文献が主張し求めている危険な提案は、禁止された化学兵器と生物兵器に関する中国の将来の行動について、私たちに警鐘を鳴らしている。

筆者: モニカ・チャンソリア(日本国際問題研究所上級海外フェロー・インド)

【JAPAN Forwardから】生物兵器開発に注力する中国 モニカ・チャンソリア氏寄稿

産経新聞 2020. 4. 12 11:00

英語ニュース・オピニオンサイト「JAPAN Forward」は3月25日、「中国の軍事研究者たちはこの20年、生物兵器開発に注力してきた」と題する記事を掲載した。日本国際問題研究所のモニカ・チャンソリア上級海外フェロー(インド)が寄稿した。

寄稿記事によると、中国当局の大規模な隠蔽工作が新型コロナウイルスの世界的蔓延(まんえん)をもたらした、としている。記事はさらに、中国の軍事研究者たちが圧倒的軍事力を持つ米国に非対称の戦いを挑むため、この20年にわたり生物兵器に焦点を絞って研究開発を進めてきたという、背筋の寒くなるような実態を暴露し、中国の未来に警鐘を鳴らした。

記事の日本語訳は以下の通り。

◇

中国の独立系メディア「財新」は、中国の研究所が2019年12月末までに謎のウイルスを非常に高い感染力の新たな病原体として確認していたことを明らかにした。ウイルスは、後にCOVID-19として識別された。しかし、研究所は当時、さらなるテストの中止、サンプルの破棄、そして情報を可能な限り秘匿するよう命じられた。

今回のパンデミックの発信地である中国・武漢の衛生当局は、2020年1月1日以降、原因不明のウイルス性肺炎を特定するサンプルを破壊するよう研究所に要求したのだ。中国政府は、人から人への感染が起きている事実を3週間以上も認めなかった。

「財新」は、非常に重要な初期の数週間に、こうした致命的で大規模な隠蔽工作が行われた明確な証拠を提示し、それによって大流行、すなわち、その後、世界に広がり文字通り「世界閉鎖」を引き起こした大流行を制御する機会が失われたと結論付けた。『超限戦』—ルールを超えた戦争

20年以上前から中国では軍事研究の分野で、西側諸国によって定められたルールを超えた戦争の準備をすべきであるとの主張がなされてきた。今、改めてそれらの文献を検証するのは意義があることだろう。

1996年、中国人民解放軍空軍の2人の将校、喬亮(少将)と王湘穂(大佐)は、台湾を威圧するために行われた軍事演習に参加した。演習は、台湾総統選挙の準備が行われている最中に実施された。すぐに米国はこの地域に2隻の空母部隊を派遣し、世界は、東アジア地域における大国の勢力争いが復活したのを目の当たりにした。

それをきっかけに、2人の将校たちは、中国東南部の福建省にある小さな村で研究を始めた。そして、最終的に、『超限戦: 対全球化時代戦争と戦法的想定』(ルールを超えた戦争: グローバル時代における戦争と戦法の評価)と題した著書を解放軍文芸出版社から共著で出版した。

『超限戦』の中心的テーマは、中国が「自衛のためにすべての境界と規制を超える戦争」を行う準備をすべきであるということだ。喬亮と王湘穂は著書の中で、既存の戦争についてのルールや国際法、国際協定は、西側諸国がつくり、米国が新時代の軍事技術と兵器の競争をリードしていると主張する。20年以上前に書かれ

昨年8月には米露の中距離核戦力（INF）全廃条約が失効し、米露は中距離ミサイル開発に着手している。戦略概観は「東アジアにおいてミサイル分野で軍拡競争が発生する可能性がある」とした。

<コロナの陰で 韓国総選挙4・15> (上) 高齢者の貧困 感染拡大、でも働かねば

東京新聞 2020年4月11日 朝刊

ソウル市内の地下鉄で高齢者の地下鉄無料パスを使い、書類を届ける張完植さん。年金を補うため、「地下鉄宅配」で働く高齢者が増えている＝中村彰宏撮影



十五日投開票の韓国総選挙。発足三年となる文在寅（ムンジェイン）政権の中間評価と位置付けられ、与野党が激しい選挙戦を繰り広げている。最大の争点は、韓国でも感染者が一人を超えた新型コロナウイルスへの対応。その一方で、高齢者の貧困、若者の就職難、行き詰まる南北関係といった課題は残ったままだ。コロナの陰に隠れた争点の現場を追った。

配送を終え、昼食を取っていた張完植（チャンワンシク）さん（71）のスマートフォンが鳴った。メッセージで届いたのは、次の送り主の住所。「確認しました」。社長に返信を打ち、地図アプリで場所を検索すると、地下鉄の駅へと向かった。

張さんの仕事は「地下鉄宅配」と呼ばれる配送業者。六十五歳以上は地下鉄が無料になる福祉制度を活用したもので、ソウルを中心に増えている。配達員は地下鉄に乗り、送り主から書類などの荷物を受け取って指定の場所に届ける。時にはペットを運ぶ依頼もあるという。料金は、距離により一万～二万ウォン（約九百～千八百円）程度。その70%が賃金になる。

韓国では一月下旬から新型コロナウイルスの感染が拡大。休業する同業者も少なくないが、張さんが働く会社は営業を続ける。「高齢者だから『もし感染したら』という不安はあるが、みんな働くと言うし、注文もあるから」とベ基根（ペギグン）社長（70）。張さんは「マスクは必ず着け、手もよく洗って気を付けている」と話す。

六十五～八十三歳まで約五十人の配達員のうち、約半数が感染拡大後も仕事を続け、金泰鎮（キムテジン）さん（75）もその一人。ソウル市内で家賃二十二万ウォン（二万円弱）のアパートに独りで暮らす。年金はない。地下鉄宅配でほぼ毎日働き、月約八十万ウォンの収入で何とか生活。「この年ではいかにやれる仕事もない。コロナは心配だが、働かないと暮らしていけない」

韓国では六十五～七十九歳の就業率（二〇一八年）が38.3%

と、日本の24.3%（六十五歳以上）を大きく上回る。一方で高齢者の貧困率は50%近くに達し、経済協力開発機構（OECD）の加盟国では最も高い。深刻化する高齢者の貧困。背景には、年金など社会保障が整備されていない現状がある。

10日、ソウルの投票所で、ビニール製手袋を着けて総選挙の事前投票を行う韓国の文在寅大統領夫妻＝聯合・共同



国民年金制度が導入されたのは一九八八年。当初は一定規模以上の事業所に限られ、全員が対象になったのは九九年と歴史が浅い。そのため、生活に十分な年金を受け取っていない高齢者が多く存在する。張さんも妻と二人で受け取る年金は計五十五万ウォン（五万円弱）ほど。地下鉄宅配で稼ぐ五十万ウォンを生活費の足しにしている。

文政権も基礎年金の引き上げなどの政策を講じてきたが、韓国金融研究院の張ミン（チャンミン）研究員は「かつては子どもが高齢になった親を経済的に支えるのが普通だったが、家庭観も変わってきた。社会保障制度が高齢化のスピードに追いついておらず、大胆な政策が必要だ」と指摘する。

選挙戦では、与野党がコロナ対策として支援金の給付額を競い合い、社会保障や少子高齢化対策の充実を訴える声はほとんど聞こえてこない。「感染者も減って、政権はコロナ対応をよくやっていると思う」と張さんは言う。その一方で、与野党の「ばらまき合戦」は冷めた目で見つめる。

「投票はするが、何かが変わるとは期待していない。候補者に関心があるのは、当選できるかどうかだけ。われわれの生活のことなんて本当は考えていない」（ソウル・中村彰宏）

<コロナの陰で 韓国総選挙4・15> (中) 若者の雇用格差 非正規労働の軽い命

東京新聞 2020年4月12日 朝刊

「土の Spoon で育った子も、懸命に働けばいつか金の Spoon を手に入れられると信じていた」。金美叔（キムミスク）さん（51）は、二十四歳で亡くなった長男の鎔均（ヨンギョン）さんと二人で撮った写真を見つめ、涙を浮かべた。二種類の Spoon は、韓国で広がる貧富の差の代名詞だ。

中部・忠清南道泰安（チュンチョンナムトアアン）の警察から緊急の連絡を受けたのは、二〇一八年十二月十一日未明だった。病院の霊安室で、鎔均さんの顔は生前のままに見えたが、損傷した首から下は直接見ることを許されなかった。

事故の10日前、泰安火力発電所で非正規労働者の環境改善を訴えるプラカードを持つ金鎔均さん＝関係者提供



鎔均さんは三カ月前の九月中旬、泰安にある火力発電所の下請けの非正規職員になったばかりだった。十二時間の当直勤務中、燃料の石炭運搬用のベルトコンベヤーに体を挟まれた。

コンベヤーには、安全のため作業員が機械内に入らずに済むように自動清掃装置が備えられている。だが現場ではコスト節減のため作業員が内部に入り、シャベルで廃棄物をかきだしていた。鎔均さんは当時、一人で勤務。異常時は片方が緊急停止ボタンを押せるように二人一組で勤務するマニュアルも守られず、国の事故調査委員会は「一人で業務をさせていたことは問題だ」と指摘した。

「なぜ息子は劣悪な環境で働かなくてはならなかったのか」。母親として悔いた。心臓病の夫は定職に就けず、美叔さんが非正規の仕事をして生計を立てた。経済的余裕はなく、鎔均さんは高校まで塾に通わず、地方の短大を卒業した。

韓国社会は巨大財閥の力が強く、大都市の有名大学を出ていなければ安定した職を得ることは難しい。韓国の二十代の若年失業率は10%前後で推移し、日本の二〜三倍。だが、鎔均さんは公営電力会社への正規雇用の道も開かれていると信じて働いていたという。

ソウルで2日、亡き息子鎔均さんと撮った写真を見せながら語る金美叔さん＝相坂穰撮影



美叔さんは一四〜一八年の五年間に、国内の発電所で少なくとも二十人が事故死し、全員が下請けの非正規労働者だったことを知る。若者の雇用改善を公約に掲げてきた革新系の文在寅（ムンジェイン）大統領に面会し「遺族が涙を流すことがないよう努める」との言葉を聞いた。

だが、一九年の統計で非正規労働者は前年より少なくとも三十五万人増え、全賃金労働者に占める比率は36%を超えた。「新型コロナウイルス感染拡大で経済が悪くなり、大企業が人件費削減のために非正規雇用をもっと増やすのではないか」と懸念する。

昨年秋にはチョ国（チョグク）前法相の子の名門大不正入学疑

惑など政府高官のスキャンダルが続出。「大統領の言葉は美しいが、彼の部下や官僚は私利私欲のみで何もしなかった」と失望した。

ソウル市南部の低所得世帯が多い地域で、派手な音楽を流しながら行き交う与野党の選挙カーを見つめて言った。「保守か革新か特定の支持政党はない。労働者の声を聞いて支援してくれる政治家を選びたい」

（ソウル・相坂穰）



金正恩氏、党政治局会議を主宰 コロナ対策強化や人事決定

2020/4/12 10:37 (JST)4/12 10:38 (JST)updated 共同通信社



北朝鮮・平壤で開催された朝鮮労働党政治局

局会議に出席した金正恩委員長＝11日（朝鮮中央通信＝共同）

【北京共同】北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は11日、平壤で党政治局会議を主宰した。新型コロナウイルスの世界的拡大を受けて「人民の生命の安全を保護するための国家的対策」の強化を決定。事態長期化を見越して政策調整を行ったほか、党幹部の人事などを決めた。国営メディアが12日、一斉に伝えた。

10日に開催するとしていた国会に当たる最高人民会議は12日にも開かれるとみられる。日程変更の理由は不明。

北朝鮮はこれまで国内に新型コロナ感染者はいないと主張している。しかし、中国との国境封鎖などによる経済的打撃は深刻とみられ、経済分野などでの目標を下方修正したもようだ。



北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長（朝鮮中央通信＝共同）

北朝鮮、政治局会議でコロナ対策協議 金正恩氏出席

日経新聞 2020/4/12 10:14

【ソウル＝細川幸太郎】北朝鮮の朝鮮中央通信は12日、朝鮮労働党政治局会議が11日に平壤で開かれ、金正恩（キム・ジョンウン）委員長が出席したと報じた。新型コロナウイルスへの対応策や党内の幹部人事、国会予算について議論した。感染症について「全人類的な大災難」と危機感を示し、ウイルス流入を遮断するための国家的な対策を継続するとした。



画像の拡大

北朝鮮・平壤で行われた朝鮮労働党政治局会議。中央が金正恩氏（11日）=朝鮮中央通信・共同

10日に開催される予定だった最高人民会議（国会に相当）の開催は報じられておらず、当初日程が延期された可能性がある。政治局会議の翌日の12日に開催されるとの見方がある。

11日の政治局会議では、感染症の拡大を受けて「ウイルス感染の危険が短期間に解消されることは不可能」とし、「われわれの闘いと前進にも一定の障害を来す条件になりうる」と指摘した。北朝鮮は現時点で国内感染者はいないとしている。同通信は「当初から水も漏らさぬ貿易措置を稼働させて、非常に安定的な防疫形勢を維持している」と報じている。

会議では党人事案も協議した。朴正天（パク・ジョンチョン）軍総参謀長を朝鮮労働党政治局員に選出。金正恩氏の実妹、金与正（キム・ヨジョン）党第1副部長と、李善権（リ・ソングォン）外相を政治局員候補に選出した。

金正恩氏は会議内で「共同決定書を採用し党組織と幹部、党員がさらに奮起して政策的方針を貫徹するための革命旋風を起こす」と強調した。

北朝鮮、コロナ禍の厳戒下でもミサイル連射の怪

編集委員 峯岸博 2020/4/10 0:00 情報元日本経済新聞 電子版



3月2日、朝鮮人民軍の火力打撃訓練を視察する金正恩委員長（朝鮮中央通信=共同）

視察する金正恩委員長（朝鮮中央通信=共同）

新型コロナウイルスの猛威の前に静まりかえる世界で、弾道ミサイルが轟音（ごうおん）をたてて日本海に飛んでいった。3月だけで4回のハイペースで、いずれも複数の連射だ。ウイルス流入に厳戒態勢を敷く北朝鮮が発射実験を繰り返す背景に何があるのか。

北朝鮮の国営メディアなどによると、新型コロナ感染の疑いで隔離された「医学的監視対象者」は、平安南道や平安北道、江原道を合わせて約7000人。ほかにも黄海南道、慈江道、咸鏡南道、開城市に同様の対象者がいたと報じられた。北朝鮮全体で少なくとも1万人程度に上ったとみられる。それが500余人まで減ったというのが4月3日の報道だ。

■活動再開は苦境の裏返し

社会が混乱すれば金正恩（キム・ジョンウン）委員長体制の土台を揺るがしかねない。指導部がとりわけ神経をとがらせるのが120万人の軍人だ。在韓米軍の司令官は、北朝鮮が3月中旬まで

に約1カ月にわたって飛行訓練を含めて活動を停止していたと述べた。

北朝鮮は感染者の存在を一貫して否定しているが、額面通りに受け取りにくい。陸続きの中国での最初の感染者発生から中朝境界封鎖まで約1カ月かかっており、大規模な犠牲者が出ているとの情報も複数から伝わる。

「最近になってまん延がある程度抑えられ、工場の稼働や物流が少しずつ動きはじめた」（北朝鮮事情に詳しい消息筋）。貿易の9割超を依存する生命線の中国との境界を封鎖した結果、モノ、カネ、人の流れが全面的に止まり、経済の悪化が深刻になっている。経済活動を再開する裏には、そんな事情が透ける。

だからこそ、軍の活動を控えた期間も含めて3月2日、9日、21日、29日に短距離弾道ミサイルを立て続けに放ったというのである。



北朝鮮のミサイル技術は実験ごとに高度化している。

3月21日に発射したミサイル。朝鮮中央通信は「戦術誘導弾」としている（朝鮮中央通信=共同）

■軍事力で「成果」誇示

時計の針を少し戻す。北朝鮮が新型コロナウイルスの脅威に見舞われたのは、朝鮮労働党の中央委員会が2019年末、「経済は自力更生、安全保障は軍事力強化」という対米正面突破戦を決めた直後のことだ。指導部にとっては最悪のタイミングだった。

制裁と感染症のダブルパンチに見舞われた経済は落ち込みが避けられない。それならば軍事力で目に見える成果を出さなければならないという状況に追いこまれたのだ。

核・ミサイル頼りは変わらない。遠隔地での実験なら軍人の数を絞り込めて、感染拡大も抑えられる。3月2日、マスクを着けずに現地で指導した金正恩氏は「戦闘任務を完璧に遂行できるように準備されている」と「大きな満足の意」を示したという。

若い独裁者には権威が重要だ。筆者は取材先の平壤で、最高指導者の発言や党決定の内容を、翌朝になると末端の政府職員までがそらんじる姿を何度か目にした。党の指導で社会が動く国家システムのため、トップの権威が傷つく事態は絶対に許されないのである。



平壤市内の故金日成主席（左）と故

金正日総書記の肖像画の前をマスク姿で行き交う人たちは2月27日（共同）

■「いずれはICBMに」

懸念すべきは、北朝鮮で核・ミサイルの性能が確実に高まっている点だ。政治的な思惑ではなく、技術的なプログラムに沿って各種の実験が重ねられていると軍事専門家は話す。

3月に放たれた少なくとも9発以上のミサイルには2つの特徴が

ある。

1つ目は、複数のロケット弾をほぼ同時に発射する超大型放射砲（多連装ロケット砲）を使用したことだ。短時間で敵に対し連射できれば攻撃力が高まる。すでに1発目と2発目の発射間隔が約20秒まで短縮された。2発目と3発目の間はなお1分以上かかるという、改良が加えられている。

2つ目は、米国製の戦術地対地ミサイル「ATACMS」やロシア製の高性能ミサイル「イスカデル」に類似したタイプが含まれていたことだ。低空で飛行し、下降後に再び上昇する変則軌道を描くのが特徴だ。固体燃料を使うので発射前に撃破することは難しい。約1000万人が暮らす韓国の首都ソウルへの命中精度を高めることで、後方に控える米軍の攻撃を抑えようという戦術だ。現在の米韓の迎撃システムではすべてを撃ち落とせない可能性が高い。韓国メディアは「韓国に致命的脅威」（東亜日報）と伝えた。

■「2つの脅威」にどう立ち向かうか

北朝鮮はどちらのミサイルも実戦配備を示唆した。軍事力強化の成果を内外に誇示する狙いだ。

中長距離ミサイル実験を控えているのは、金正恩氏がトランプ米大統領に約束したからだ。「積み上げた技術を、いずれは大陸間弾道ミサイル（ICBM）で試すと米国を威嚇しつつ、いざというときに備えている」（北朝鮮関係筋）という。

10日の召集を発表した最高人民会議（国会に相当）でも、19年末の党決定の徹底をはかるとみられる。日増しに高まる核・ミサイルのリスク。日米韓は、ウイルスと闘いながらもうひとつの脅威とも向き合わなければならない現実に直面する。

峯岸博（みねぎし・ひろし）

1992年日本経済新聞社入社。政治部を中心に首相官邸、自民党、外務省、旧大蔵省などを取材。2004～07年ソウル駐在。15～18年3月までソウル支局長。2回の日朝首脳会談を平壤で取材した。現在、編集委員兼論説委員。著書に「韓国の憂鬱」、「日韓の断層」（19年5月）。

<新型コロナ>北、最高人民会議報じず コロナで開催回避か 東京新聞 2020年4月12日 朝刊

【ソウル＝相坂穰】北朝鮮国営の朝鮮中央通信は十一日朝、首都平壤（ピョンヤン）で十日に開かれる予定だった最高人民会議の開催を報じなかった。国会に相当する重要会議の直後に国営メディアの報道がないのは異例で、新型コロナウイルスの感染拡大で開催されなかったとの観測が出ている。

最高人民会議は年一、二回開かれ、憲法改正や政府人事、予算承認などを行う。金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長の体制になって、予告された日に開かれなかった例はない。今回も、政権の威信をかけて強行されるとの見方が米韓などで強く、ウイルス防疫のほか、米朝の非核化交渉停滞や弾道ミサイル開発についても、何らかの政策方針が示されるかどうか注目されていた。

聯合ニュースは、会議が延期か中止された可能性を指摘し、「劣悪な保健環境で、全国から代議員が集まるのは無理と判断したとの見方がある」と分析。その上で、通信ネットワークを使った会議が行われる可能性もあると指摘した。

<点検「桜を見る会」>会場側が首相の説明否定

東京新聞 2020年4月12日 朝刊

「桜を見る会」の前夜に安倍晋三首相と地元支援者が東京都内で開催した懇親会を巡っては「明細書の発行を受けていない」などとする首相の主張を、開催ホテル側が否定した。野党は首相の虚偽答弁の可能性を指摘している。

首相は、懇親会の運営について、主催は自身の後援会だとしながらも、ホテル側との契約主体は個々の参加者だったと主張。一人五千円の会費は「集金した全ての現金をその場でホテル側に手渡す形で、参加者から支払いがなされた」と説明してきた。

だが二〇一三、一四、一六年に懇親会場となったANAインターコンチネンタルホテル東京（東京都港区）の広報担当者は、立憲民主党の辻元清美衆院議員の問い合わせに対し、一三年以降に開かれたパーティー・宴席では、見積書や請求明細書は主催者に発行していると回答。代金は主催者がまとめて支払い、政治家や政治家の関連団体でも「例外はない」とした。

ホテル側の回答通りなら、懇親会を開催した首相後援会には収支が発生。政治資金収支報告書に記載がなければ、政治資金規正法違反に問われかねない。

首相は二月の衆院予算委員会で、ホテルの営業担当者の話として「個別の案件は営業の秘密に関わるため、回答には含まれていない」と反論した。首相答弁の翌日にホテル関係者が自民党本部を訪問。ホテル側はその後、コメントを控えた。（中根政人）

◆首相、説明責任果たさず あす「桜を見る会」から1年

安倍晋三首相の主催で昨年四月十三日に開催された「桜を見る会」から明日で一年。この間、会の運営や後援者との懇親会、公文書管理を巡る問題が次々と明らかになり、首相が会を私物化したとの疑いが高まった。首相らは、今も説明責任を果たしているとはいえない。

第二次安倍政権下の二〇一三年以降に開かれた桜を見る会は、参加者数や関連経費が膨らみ続けた。首相や与党政治家の推薦による招待客増加が大きな要因だ。

首相は会前日に東京都内での地元支持者らとの懇親会に毎年出席。会場の新宿御苑が開門前に入場した支持者らと記念写真を撮っていた。

首相らは、招待客名簿は一切残っていないとする。内閣府が推薦者名簿の一部で、部局名を「白塗り」で隠して国会提出したことも発覚。野党は「改ざんだ」と批判している。

食い違ふ説明	
ホテルの文書回答 (氏名は元氏や本籍)	安倍首相の 答弁
主催者に対して見積書や請求明細書を発行する	ホテルから発行を受けていない
領収書宛名を空欄のまま発行することはない	ホテル名義で発行し、宛名は空欄だった。宛名を「上様」としていた可能性はある
代金 主催者からまとめて支払ってもらう	契約主体は個々の参加者。参加者の会費を事務局が集金し、ホテル側に渡した

河井案里氏陣営から「参院選直前にも現金」 複数スタッフ供述、

克行氏手渡しも

産経新聞 2020. 4. 11 18:19

自民党の河井案里（あんり）参院議員（46）＝広島選挙区＝の陣営による公選法違反（買収）事件で、複数の元陣営スタッフが広島地検の任意聴取に対し、昨年7月の参院選の公示直前や投開票後、夫で前法相の克行衆院議員（57）＝自民、広島3区＝や案里氏陣営側から現金を受け取ったと認めていることが11日、関係者への取材で分かった。

夫妻側からの現金提供について、地検は元スタッフのほか、広島県内の首長や県議、市議らから任意聴取。今月9日には県議2人の関係先を家宅捜索した。地検は夫妻側が幅広く金を配り、票の取りまとめを依頼した疑いもあるとみて捜査しているようだ。

参院選期間中に陣営スタッフとして参加していた男性は産経新聞の取材に対し、克行氏が「（参院選直前の）昨年6月下旬ごろ封筒に入った現金を置いていった」と証言。金額については明言を避けたが、「票集めに奔走した」とし、「（現金を返さず）心に隙があった」と釈明した。

また、参院選の公示前から投開票日まで「ボランティアとして働いた」という陣営スタッフだった別の男性も「当選後に案里氏陣営に仲介してくれた知人から『給料』があるといわれ、現金2万5千円をもらった」と説明。「案里氏の事務所宛の領収書もあった」としている。

地検の聴取に対し、2人を含む元スタッフのほか、複数の議員や首長らも現金を受け取ったと認めているという。公選法では票の取りまとめなど選挙運動の対価としての資金提供を買収行為として禁じている。

案里氏陣営をめぐるのは、選挙カーでアナウンスする車上運動員に違法報酬を支払ったとして、地検が案里氏の公設秘書、立道（たてみち）浩被告（54）と克行氏の政策秘書、高谷（たかや）真介被告（43）を起訴。立道被告については連座制が適用される組織的選挙運動管理者に当たると判断し、迅速に審理を進める「百日裁判」を広島地裁に申し立てた。立道被告が連座制の適用対象と認定されれば案里氏は失職する。

■資金提供の趣旨解明が焦点

河井案里参院議員が初当選した昨年7月の参院選をめぐるのは、陣営関係者のほか、地元・広島県内の「政界ルート」にも資金が広く配られていたとみられている。広島地検は地元へ流れた資金の額や趣旨を解明し、陣営の事実上の責任者だった夫、克行氏の立件を目指しているようだ。

今月9日に事務所などを家宅捜索された渡辺典子県議の関係者は産経新聞の取材に対し、河井夫妻からの資金提供を認めたが「定期的に寄付として資金提供を受けており、今回もその一環」と説明。「票のとりまとめの趣旨はなく、買収に当たらない」と主張した。

ある広島市議も昨年4月の市議選前、克行氏から現金30万円を受け取ったとする一方、「陣中見舞いと思った」と主張。当選後に克行氏から数十万円を受け取ったという別の市議は「克行氏に『当選おめでとう』と言われた」と述べ、当選祝いとの認識を示した。

多くの県議や市議は案里氏が候補者として公認された昨年3

月以降に現金を受け取っているが、翌4月には統一地方選の県議選や市議選が行われた。公選法に詳しい弁護士は「議員らの多くは『当選祝い』や『選挙戦に向けた陣中見舞い』と弁解するだろう。政治家間では中元や歳暮の時期にも陣中見舞いが行われることも多く、選挙のためと立証するには線引きが難しい。受け取った側の供述頼みでは、認めた人だけが立件されてしまうのではないかと指摘する。これに対し、別の弁護士は「案里氏が公認されて以降の資金提供は、買収とみなされる可能性が高い」としている。

「人との接触機会 極力8割削減を」西村経済再生相 日曜討論 NHK4月12日 12時31分



新型コロナウイルスの感染が拡大する中、西村経済再生担当大臣は、NHKの「日曜討論」で、「緊急事態宣言」が出された後、対象地域で人の流れの減少は見られるものの、人との接触機会を極力8割削減する目標に向けて、一層の取り組みを呼びかけました。



この中で、新型コロナウイルス対策の特別措置法を担当する西村経済再生担当大臣は、「鉄道の利用客数や携帯の位置情報で見ると、人の流れは6割から7割ぐらい減っているが、人との接触の8割削減を、経済界でもさらに強力に進めてもらいたい。また、繁華街の出入りへの自粛のお願いを全国の都道府県知事に行った。全国の皆さんには、外出自粛、特に繁華街には出歩かないよう、改めてお願いさせてもらいたい」と述べました。また、西村大臣は、企業への経営支援に関連し、「多くの事業者が非常に厳しい状況に置かれており、地方創生の臨時の交付金をそれぞれの地域に配分して使ってもらいたい。休業補償や損失補填という名目で使うことはできないが、中小企業を支援する形で使ってもらう分には、かなり自由度を持ってできるように制度設計していきたい」と述べました。

経団連の中西会長は、政府の緊急経済対策について、「手続き上の問題など課題はあるが、困っている人をとにかく助けるという政府のメッセージはクリアだ。ただ、いまの経済状態がどれくらい続くか、様子を見ながら真剣に議論しなければならない。日本だけが感染症をねじ伏せたとしても、諸外国がいろいろと事情を抱えていて、この対処策も含めた中長期の課題がずいぶんあるのではないかと述べました。

連合の神津会長は、「政府は『補償はできない』という一言だが、業種や職種の団体から声を聞いて、手を差し伸べられることはなにか、ぜひ検討してもらいたい。不安の解消こそが最大の経済対策だ。雇用調整助成金は非常に大事な制度で、工夫はされているが、できるだけ簡素にスピード感をもって給付されるようにしてもらいたい」と述べました。

を目指す。

東京都、初の休業要請へ 対象施設きょう公表、協力金も

2020/4/10 00:48 (JST) 4/10 08:00 (JST) updated 共同通信社



西村経済再生相と面会后、取材に応じる東京都の小池百合子知事

9日夜、東京都千代田区

新型コロナウイルスに備える改正特別措置法(新型コロナ特措法)の緊急事態宣言の対象となっている東京都は9日、同法に基づき、企業や店舗を対象に休業要請することで政府と一致した。小池百合子知事が10日に記者会見で対象の業種や施設を公表する。同法上の休業要請に踏み切るのは初めて。応じた企業向けの協力金の支払いも数十万円を軸に検討する。

都が休業要請の対象に含めようとした百貨店や理髪店、ホームセンター、屋外のスポーツ施設については国の見解を受け入れて対象外とし居酒屋も営業時間を午後8時ごろまでとする方向となった。百貨店は食品や生活用品の売り場以外は休業を求める。



東京都の小池百合子知事と面会后、取材に応じる西村経済再生相

9日夜、東京都千代田区

「違うと混乱」「首都圏一体で」 休業要請、都に追随—神奈川、埼玉両県

時事通信 2020年04月10日 20時27分



新型コロナウイルス対策で東京都と同様の休業要請を実施すると表明した神奈川県の黒岩祐治知事

10日午後、同県庁

新型コロナウイルス対策で東京都が11日からの休業要請を発表したのを受け、神奈川県黒岩祐治知事は10日、「東京と違うことをすると混乱が起きる」と同県も休業を要請すると表明。埼玉県も大野元裕知事が同日、「首都圏一体で対応すべきだ」と追随する方針を明らかにした。

黒岩氏はこれまで休業要請に慎重な姿勢を見せていたが、「国と都の歩調が合ったので、その流れに合わせたい」と指摘。休業要請の開始時期と対象業種を都とそろえたほか、要請に応じた中小企業に都が支給する協力金についても「国の臨時交付金をうまく使えないかというイメージがある」と語り、同様の措置に前向きな考えを示した。

埼玉県の休業要請では、都が営業時間の短縮を求める飲食店などを除外。開始時期も中小企業が多く準備期間が必要と判断し、

都と神奈川県から2日遅い13日からとした。

大野氏は協力金のような休業補償には消極的な見解を示しつつ、中小企業対策を盛り込んだ補正予算を早急に編成すると述べた。

映画館などへの休業要請、11日から 小池都知事が会見

朝日新聞デジタル軽部理人 2020年4月11日 2時01分



会見で休業要請の対象業種などを発表する

東京都の小池百合子知事=2020年4月10日午後2時12分、東京都新宿区、西畑志朗撮影

東京都の対応

基本的に休業を要請

- ・キャフェー
- ・ダンスホール
- ・性風俗店
- ・ネットカフェ
- ・カラオケボックス
- ・理髪店
- ・ボウリング場
- ・バー
- ・個室ビデオ店
- ・漫画喫茶
- ・映画館
- ・ライブハウス
- ・美容室
- ・スゴーテラスなどの運動施設
- ・パチンコ店
- ・ゲームセンターなどの遊技場
- ・競馬場
- ・競輪場
- ・競艇場
- ・乗合バス
- ・博物館
- ・美術館
- ・図書館

営業時間の短縮を要請

午前11時～午後8時の営業を要請し、遅刻の確保は午後7時までとする必要あり

- ・飲食店
- ・居酒屋
- ・コンビニエンスストア
- ・ホテル・旅館
- ・百貨店・ホームセンター
- ・スーパーマーケット
- ・おける生活必需品売り場

感染防止対策の強化を要請

- ・病院
- ・バス
- ・証券取引所
- ・美容室
- ・食料品売り場
- ・百貨店・ホームセンター
- ・スーパーマーケット
- ・おける生活必需品売り場
- ・郵便局
- ・タクシー
- ・鉄道
- ・銀行
- ・理髪店
- ・ごみ処理関係
- ・ホテル・旅館
- ・スーパーマーケット
- ・おける生活必需品売り場

基本的に休業を要請しない施設

- ・大学・専門学校などの教育施設
- ・学習塾
- ・生活必需品の小売・医療など以外の商業店舗
- ・生活必需品サービス以外のサービス業の商業店舗

施設の種類によっては休業を要請

- ・小中学校など(原則として施設の使用停止)
- ・保育園・児童クラブなど(必要な保育などを確保)

新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言を受け、東京都の小池百合子知事は10日の定例会見で、休業を要請する対象施設を公表した。要請は11日午前0時からで、5月6日まで続く。協力事業者に「感染拡大防止協力金」を支給する意向も表明。2店舗以上持つ事業者に100万円、1店舗の事業者に50万円を支給する。

小池知事は、会見で「都民の皆様には大変ご不便をおかけする。厳しく、楽しみを奪われると思う方もいるかもしれないが、早期の感染拡大の収束につなげることができると考えている」と述べた。

要請は原則、特別措置法に基づいて行われる。国との調整が続けられた飲食店については、午前5時～午後8時の短縮営業を要請。酒類の提供は午後7時までとなる。小規模な商業施設などについては一部、特措法ではなく、都独自の協力の呼びかけになった。

「密閉、密集、密接の3密の空間の除外」という観点から、「基本的に休止を要請する」として「遊興施設」(バー、ネットカフェ、カラオケ)▽「運動、遊技施設」(ボウリング場や屋内の運動施設、ゲームセンター)などを挙げた。

一方、「社会生活を維持する上で必要」に分類した施設には、適切な感染防止対策を実施することを求めた上で、休業は要請しない。病院や食料品売り場、ホテルや理髪店・美容室に加え、百貨店やホームセンターの生活必需品売り場も含まれる。

都が創設した「感染拡大防止協力金」は、都の要請に応じて休

業した事業者をはじめ、営業時間の短縮に応じた飲食店などにも支給される。中小か個人経営の企業が対象となる。都によると、都内の平均的な家賃相場(1カ月分)をベースに算出したという。都関係者によると、予算規模は1千億円程度を見込んでいる。

休業中の補償ではなく、「見舞金」(都幹部)という位置づけで、減収額の条件はない。自己申告制で、都は来週中にも具体的な休業日数などの要件を決める予定という。

都は6日に要請の対象施設を取りまとめ、公表する予定だった。だが、感染拡大で早期の封じ込めを実施したい都と、外出自粛の効果を見極めたい国との調整が難航。7日に緊急事態宣言が出された後も、要請の対象となる施設が示されていない状態が続いていた。

小池知事が9日夜に新型コロナ対応を担当する西村康稔経済再生相と会談。対象施設について、都の案を大筋で認める形で国と合意していた。(軽部理人)

都知事が休業要請発表、11日から実施 協力金50万円

日経新聞 2020/4/10 14:21 (2020/4/10 22:21 更新)

東京都の小池百合子知事は10日の記者会見で、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、娯楽施設や大学、劇場などに11日から5月6日まで、休業を要請すると発表した。実効性を高めるために要請に応じた中小の事業者に1店舗50万円の「協力金」を給付する方針も示した。

小池氏は「都の感染者数はほかの道府県に比べて突出している。多くの人々が往来する首都の特殊性も勘案した結果、休業要請をすることにした」と説明。その上で「都民の命や、逼迫する医療現場を守るためにも、何とか人と人との接触を8割抑制することが必要。都民には危機感を共有してもらう必要がある」と協力を求めた。

緊急事態宣言を受けた東京都の対応	
基本的に休業を要請	大学・専修学校・自動車教習所・学習塾・博物館・美術館・図書館(床面積の合計が1千平方メートルを超えるものに限る)、体育館、水泳場、ボウリング場、スポーツクラブ、劇場、映画館、ライブハウス、集会場、展示場、キャバレー、ナイトクラブ、ダンスホール、バー、ネットカフェ、漫画喫茶、カラオケボックス、マージャン店、パチンコ店、ゲームセンターなど
種別によっては休業を要請	学校(大学などを除く)、保育所・児童クラブ(保育提供を縮小)、通所型介護施設など
生活インフラとして休業を要請せず	病院、診療所、薬局、百貨店・ホームセンター・スーパーマーケットの生活必需品売り場、コンビニエンスストア、ホテル、旅館、バス、タクシー、レンタカー、電車、船舶、航空機、物流サービス、工場、メディア、葬儀場、銭湯、理美容、質屋、獣医、ランドリー、金融機関や官公署(テレワークの一層の推進を要請)、飲食店・喫茶店(営業や酒類提供の時間短縮を要請)

改正特別措置法に基づき映画館やライブハウス、スポーツクラブなどのほか、床面積が1千平方メートルを超える大学、集会施設、商業施設に休業を要請。100平方メートル超の大学や生活必需品を取り扱わない店舗にも特措法に基づかず、休業への協力を依頼する。

飲食店は都民生活への影響を考慮して休業は要請しないが、営業時間は午前5時から午後8時までとし、お酒の提供は午後7時

までとするよう求める。スーパーやコンビニエンスストア、病院など都民の生活に欠かせない店舗や施設へは営業自粛を求めない。

都の要請に応じた事業者には協力金を給付する。給付額は1店舗のみを運営する事業者は50万円、2店舗以上の場合100万円とし、事業規模は約1000億円。都は支給対象を12万件前後と見込み、5月中旬の給付に向けて準備を進めている。休業の証明方法や支給の手続きなどは、15日に都が発表予定の緊急経済対策に盛り込む方向で検討している。

休業要請を巡っては、都が緊急事態宣言の発令前に検討していた案に対し、国が「範囲が広すぎる」などと難色を示していた。9日夜に西村康稔経済財政・再生相と小池氏が会談して、対象施設を調整し、合意に至った。

ネットカフェ・パチンコも休業対象に 繁華街感染懸念

日経新聞 2020/4/10 19:23 (2020/4/10 22:14 更新)

東京都は10日、新型コロナウイルスの感染拡大を食い止めるための休業要請に踏み切った。経済活動への影響に配慮し、当初対象に入る予定だった百貨店などが外れた一方、繁華街での感染防止を主眼にパチンコ店やネットカフェなどは対象となった。「人の接触8割減」にどれだけつなげられるかが課題となる。

小池百合子知事は10日の記者会見で「都の感染者は他の道府県と比べ突出している。協力をお願いしたい」と強調した。感染防止を優先したい都と、対象を狭めるよう求める国の調整は長引いた。10日の発表内容からは、都と国が折り合った跡がうかがえる。

休業要請を受け、企業の対応は分かれている	
東京都の対応	企業などの対応
休業要請予定だったが要請せず	百貨店 キュービーネットHDは「Q8ハウス」全店舗を休業するが、内容は百貨店は営業を続ける方針
休業要請予定だったが、営業時間短縮を要請。酒類の提供は午後7時まで	居酒屋 池袋駅前やHDは休業店舗の一部営業時間を短縮。三光マーケティングフーズは「金の巻」などで居酒屋営業は自粛し、ランチを販売
休業要請予定だったが、食品など生活必需品売り場は営業可	ホームセンター 原店は営業売り場のみを休業。DCMホールディングスは原則、専門店を午後7時に閉鎖
休業要請せず	百貨店 高島屋は休業する13店舗でも食品売り場は特別営業中。三越伊勢丹HDは今後も6店舗の全面休業を継続する
	コンビニエンスストア セブン-イレブン・ジャパンなど大手3社は原則営業を継続
	スーパー イオンリテールやいなげやは原則営業を継続
営業は午前5時〜午後8時に短縮	飲食店 すかいらーくHDは1500店を原則午後8時に閉店し、都内600店は酒類の提供時間も短縮。サイゼリヤも午後8時の閉店を検討中
保育提供を縮小	喫茶店 スターバックスコーヒー・ジャパンは約650店を休業。コメダは全国の約4割で特別営業。今後もできる限り営業継続
休業を要請	保育所 渋谷区は認可保育所などを原則休み
	フィットネス コナミスポーツは休業
	カラオケ 第一興商は「ビッグエコー」など311店を休業
	学習塾 河合塾は自習室閉鎖。映像配信に切り替え

(注)対応は原則、営業時間の店舗、HDはホールディングス

都は当初、百貨店やホームセンターは全面休業を求める構えだったが、国は経済への影響などを理由に反発。調整の結果、生活必需品売り場に限り認める案で合意した。

一方、パチンコ店やマージャン店、ネットカフェといった施設では、国が営業継続を認める姿勢だったのに対し、繁華街でのクラスター(感染者集団)拡大に危機感を募らせた都は休業を主張。最終的に対象となった。

対象業種が確定し、企業は改めて対応の検討も求められそうだ。「金の蔵」などを運営する三光マーケティングフーズは、居酒屋営業は引き続き自粛するものの、ランチ営業の店を増やすことを検討する。「夜に営業する利点は少ない」と、材料をランチに転用する。

一方で食材調達などの面で「急な営業再開は難しい」との声もある。納品を夜間に行うことも多く、営業が午後8時までに限られると物流にも混乱が広がりかねない。

百貨店も頭を悩ませる。既に首都圏の6店を全面休業中の三越伊勢丹ホールディングスは当面休業を続ける。「一度閉めた食品売り場をすぐに開けるのは難しい」（関係者）ためだ。

調整の末に営業が認められた理美容では、「QBハウス」を運営するキュービーネットホールディングスが10日から、対象地域の全店舗を臨時休業している。当面は原則休業を続け、地域ごとの状況を見て再開を判断する。一方、全国で美容室を展開する田谷は路面店の営業を続ける。密集を避けるため新規予約数を限定し、スタッフも4~5割減らした。

政府は10日、特措法に基づく休業要請に関する「留意事項」を公表した。緊急事態宣言に基づき一定の拘束力がある要請と、都道府県が独自で緩やかな協力を求める要請とで、休業対象とする業種をそろえるよう求めた。今回の国と都の協議の中で、対象業種を巡り見解の相違が生じたため、再発防止を図る。

【点描・永田町】小池知事の強かな“政界遊泳術”

時事通信 2020年04月12日 19時00分



新型コロナウイルスに関して記者会見する東京都の小池百合子知事＝3月25日夜、東京都庁

コロナショックと東京五輪「1年延期」で騒乱状態の首都・東京で、小池百合子知事の強かな“政界遊泳術”が、永田町の話題となっている。7月の都知事選での再選を確実にし、難題山積の五輪延期対策のため、政治家として疎遠だったはずの安倍晋三首相や森喜朗五輪組織委委員長とも緊密な関係を構築しつつあるからだ。このところ地味な言動に徹していた小池氏だが、五輪延期が決まった途端、新型コロナウイルス感染拡大への対応で、3月25日夜に「オーバーシュート（感染爆発）の重大局面」とロックダウン（首都封鎖）も辞さない方針を突然打ち出すなど、派手な“小池流パフォーマンス”も復活させている。

小池氏にとって、「五輪と並んで腐心していた」（自民党都議）のが、都知事選（6月18日告示―7月5日投開票）での再選戦略。同氏は、前回都知事選での圧勝を受けて、2017年衆院選直前に「希望の党」を結党したが、自らの「排除発言」による選挙敗北を受けて、その後は都庁に引きこもって五輪準備と都政に専念してきた。その一方で、「長年の盟友」の二階俊博自民党幹事長を頼りに、同党東京都連との和解も探り続けてきたが、それが一気に進展したのが、24日に国際オリンピック委員会（I O

C）が決定した五輪「1年延期」だった。

都知事選で小池氏の対抗馬擁立を模索してきた同都連は、延期決定翌日の25日の都議会予算特別委員会で、知事提出の2020年度当初予算案に賛成し、「予算に賛成したのに、選挙で対立はできない」（幹部）と対決姿勢を転換した。「五輪準備で首相や森氏と連携する小池氏との対立は得策ではない」（同）との判断からで、予算賛成は知事選での小池氏支援への環境整備とみられている。



開店前のスーパーに並ぶ人々＝3月

26日、東京都大田区

◇“小池劇場”の成否はコロナ次第

小池氏は知事就任以前から、“小池劇場”とも呼ばれた大向こう受けを狙った言動で、都民の支持を集めてきた。しかし、築地市場の豊洲移転問題で、突然の移転延期表明や跡地利用計画の迷走などが批判され、ここ1、2年は派手なパフォーマンスが影を潜めていた。それだけに、25日の「重大局面」発言は、メディアが一斉に速報し、中央紙もそろって一面に大きく掲載、その後も連日記者会見することで「久々の“小池劇場”復活」（自民幹部）ともなった。

ただ、小池氏の“爆弾発言”がインターネットなどを通じて都民の間で一気に拡散したことで、25日夜からスーパーやコンビニでの食品などの買い占めによる混乱を招いた。さらに、26日の東京株式市場も「首都封鎖」による経済危機への不安から急落するなど影響は大きく、関係者の間では“百合子ショック”との言葉も飛び交った。さらに、東京を中心に巨大な首都圏を構成する神奈川、千葉、埼玉、山梨4県も小池氏に呼応する形で、26日には各知事が都内への通勤自粛や週末の外出自粛をそれぞれ県民に呼び掛ける事態となった。

都知事選では主要野党が対立候補擁立を目指しているが、「小池氏に勝てる候補は見つからない」（国民民主幹部）のが実情で、「結局“無風選挙”での小池氏再選の可能性が大きい」（自民都連）との見方が広がる。「五輪延期という大問題を素早く再選戦略につなげたあたりは“政界風見鶏”の面目躍如」（自民長老）で、犬猿の仲といわれた森氏とも手を握り、首相と共に東京五輪開催を成功に導けば、小池都政の最大のレガシー（政治的遺産）ともなり、「名都知事」との“称号”にも手が届く。ただ、コロナの感染拡大阻止に失敗すれば、小池氏の“野望”も水泡に帰す可能性があり、今回の小池劇場の結末はなお見通せない【政治ジャーナリスト・泉 宏／「地方行政」4月6日号より】。

緊急事態 警察「宣言出ていますよ」呼びかけ止まり 外出だけで職質はできず

毎日新聞 2020年4月10日 15時00分（最終更新 4月10日 17時52分）

新型コロナウイルスの感染拡大を止めるため緊急事態宣言が発令されるなか、街を出歩く人への外出自粛の徹底などを警察に

求める声の一部で始まった。だが外出自粛や休業の要請・指示に従わなくても罰則はなく、警察の取り締まり対象にはならない。警察幹部は「権限がないことはできないが、自治体から要請があればパトロール中の呼び掛けはしたい」としている。【柿崎誠、町田徳丈、岩崎邦宏】



緊急事態宣言を受け、東京都新宿区の繁華街では7日、同区の安全安心パトロール隊が外出自粛を呼びかけていた＝同区で2020年4月7日午後6時49分、喜屋武真之介撮影

「宣言が発せられたのに（飲食）店を営業しているのはけしからん。警察で注意しろ」「飲食店を営業しているので声がうるさい」――。安倍晋三首相が緊急事態宣言を発令した翌日の8日と翌9日、警視庁には宣言に関連した110番がそれぞれ30件を超えた。場所を特定できた店舗には警察官が駆けつけ、「騒音で110番が入りました。外に漏れないように工夫してください」と理解を求めたという。

首相の緊急事態宣言は、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく。都道府県知事らの命令に従わずに医薬品やマスクを隠匿した場合などには罰則を定め、警察の摘発の対象となる。これに対して、外出自粛や店舗の休業などは要請にとどまり、警察官が外出だけを理由に職務質問をすることはできない。

首相の緊急事態宣言は、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく。都道府県知事らの命令に従わずに医薬品やマスクを隠匿した場合などには罰則を定め、警察の摘発の対象となる。これに対して、外出自粛や店舗の休業などは要請にとどまり、警察官が外出だけを理由に職務質問をすることはできない。

そもそも職務質問ができるのは…
残り616文字（全文1141文字）

新型コロナ 外出は職務質問対象外 警察「呼び掛けは可能」

毎日新聞 2020年4月10日 東京夕刊

新型コロナウイルスの感染拡大を止めるため緊急事態宣言が発令されるなか、街を出歩く人への外出自粛の徹底などを警察に求める声の一部で始まった。だが外出自粛や休業の要請・指示に従わなくても罰則はなく、警察の取り締まり対象にはならない。警察幹部は「権限がないことはできないが、自治体から要請があればパトロール中の呼び掛けはしたい」としている。

「宣言が発せられたのに（飲食）店を営業しているのはけしからん。警察で注意しろ」「飲食店を営業しているので声がうるさい」――。安倍晋三首相が緊急事態宣言を発令した翌日の8日と翌9日、警視庁には宣言に関連した110番がそれぞれ30件を超えた。場所を特定できた店舗には警察官が駆けつけ、「騒音で110番が入りました。外に漏れないように工夫してください」と理解を求めたという。

残り785文字（全文1138文字）

警視庁が外出自粛呼び掛け 繁華街パトロール強化

日経新聞 2020/4/10 12:45

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言を受け、警視庁は10日までに、都内繁華街のパトロールを強化し、夜間などに街へ出ている人々に外出自粛要請を周知する呼び掛

けを始めた。



閑散とした東京・新宿の歌舞伎町（9日夜）＝

共同

警視庁によると、新宿・歌舞伎町などで実施。警察官が必要に応じて「自粛要請が出ていることを了解していますか」などと声を掛けている。通常の警察活動の一環で、帰宅を強制することはないという。

歌舞伎町は9日夜、激しい雨もあり閑散としていた。交番では警察官がトラブルに備えて任務に就いていた。

パトロールは休業で長期間無人となった店舗や事務所が盗難被害に遭う恐れがあることやトラブルを防ぐため強化している。

一方、神奈川県黒岩祐治知事も9日、県警に対し、夜の繁華街をパトロールする際に「今、外出自粛中です」などと街頭で声を掛けるよう協力を依頼したと明らかにした。

警察庁は7日に、通常の法令による対応が原則とした上で、外出自粛要請によりトラブルが予想される場合などには必要に応じて警戒、警備を行うよう都道府県警に指示。菅義偉官房長官も8日の記者会見で「各知事が感染拡大防止の対応を行うに当たり、警察においても警戒など所要の警察活動を通じて適切な対応をすることになる」と述べている。[共同]

新型コロナ感染拡大で治安悪化懸念 警視庁、大量応援投入

産経新聞 2020.4.10 16:34

新型コロナウイルスの感染が全国の警察官に広がりを見せ、緊急事態宣言が出された首都・東京でも感染が確認された。今後も感染が広がり、最前線で犯罪と対峙（たいじ）する警察署の機能が低下すれば、犯罪集団などの犯行を防げず、治安の悪化を招きかねない。警視庁は本部から大量の応援部隊を派遣するなどしており、幹部は「警察力が落ちることはない」としている。

私鉄やJRが乗り入れ、巨大繁華街を抱える警視庁のある大規模署では、緊急事態宣言が出された直後の8日の当直時間帯は、逮捕者が「ゼロ」だった。

普段は夜通し電話が鳴りやまず、慌ただしく捜査員らが行きかう署内は閑散としていた。副署長は「事件はストップ状態。こんなことは着任以来初めてのことだよ」と苦笑する。

警視庁によると、新型コロナ騒動で外出自粛が叫ばれ、人々の往来が減少するにつれてトラブル自体が目減りしているとみられ、3月の110番通報は前年同月比で約17%抑えられた。交通渋滞も23区内の道路では15%減少し、交通事故件数も抑えられている。

こうした状況は、緊急事態宣言でさらに加速するとみられ、体感的な治安は向上するようにみえる。ただ、警視庁の幹部は「自宅待機の長期化によるストレスや景気低迷に伴う不安など、人の心が乱れる要素が数多い。今後、治安が悪化に転じる可能性は十分にある」と懸念を漏らす。

警察官の感染が広がれば、警察署の機能低下も懸念される。

警視庁では、これまでに赤坂、町田、武蔵野、昭島の4署などで警察官の感染が確認された。警察官の感染は全国でも確認され、

愛知県警では剣道の練習でクラスター（感染者集団）が発生。20人以上の感染が確認され、全職員約1万4千人のうち接触した可能性のある警察官ら約250人が自宅待機となった。

兵庫県警の神戸西署でも50代の警視の感染が判明。署長も含め、全署員の3分の1にあたる約100人が自宅待機となった。

治安維持に向けて警視庁が傾注するのが、最前線に対応にあたる署の機能確保だ。赤坂署では、感染確認の署員に加え、接触が疑われる65人に自宅待機措置を取ったが、本部などから100人を超える応援部隊を派遣した。

感染者が出た署の管轄地域では、詐欺や強盗などの目的で資産状況を確認する予兆電話（アポ電）が増えるなど、犯罪のターゲットになりかねないという危惧がある。新型コロナ不安に乗じ「ウイルスに効くアメをあげる」などと子供への不審な声かけの事案も確認されている。

応援部隊はATM（現金自動預払機）付近や住宅街でのパトロールに重点を置き、「見せる警備」を推進するという。

今後も警察官の感染は広がる可能性があり、警視庁は本部などから応援の供給を続け、対応にあたる。幹部は「住民に不安を与えないように警察の力は落とさない」と話している。

しんぶん赤旗 2020年4月11日（土）

交付 わずか6件 一律休校 企業への助成金 フリーランス支援金も6件

新型コロナウイルス感染症対策としての「一律休校」で休業した保護者に給料を支払った企業に最大で日額8330円を助成する制度（小学校休業等対応助成金）が3月18日に受け付けを開始して以降、4月5日までに全国で申請件数が1000件にとどまり、交付件数はわずか6件しかないことが明らかになりました。日本共産党の畑野君枝衆院議員の問い合わせに、厚生労働省が答えたものです。



（写真）畑野君枝議員

業務委託を受けて働くフリーランスで一律休校に伴い仕事ができなくなった保護者に日額4100円（定額）を支給する制度（小学校休業等対応支援金）では、申請件数が全国で500件にとどまり、交付件数はわずか6件でした。

厚生労働省は件数が少ないことについて、「同助成金・支援金については今後、申請および支給が本格化していくものと考えている」と説明しています。

両制度は、3月18日から受け付けを開始し、当初は対象となる休暇期間が3月末まででしたが、厚労省は3月31日に対象休暇期間を6月30日まで延長しています。

畑野氏は「深刻な事態だ。企業が助成金を申請してくれない場合、労働者が労働局に申告して、会社に利用を促すことになっている。制度の徹底と改善が必要だ。休校要請と一体の補償をすべきだ」と語っています。

ネットカフェ滞在者支援、オーナー自ら奔走 緊急事態宣言、休業要請で一東京

時事通信 2020年4月11日 13時46分



仕事を終え、長期滞在中のネットカフェの個室に戻る男性＝10日午後、東京都

緊急事態宣言で休業要請の対象となったネットカフェでは、行き場を失いかけている長期滞在者の対応が課題となっている。「子どもや妻のことを考えると、一刻も早く閉めたい。ただ、利用者の次の住み家が確保できるまでは続けざるを得ない」。東京都内のある店舗では、利用者の支援に奔走するオーナーが苦渋の決断を迫られていた。

10日午後、店舗のドアには赤字で「満室」と紙が張られていた。実際は20室のうち7室が空いているが、店の50代の男性オーナーは「外から来た人が感染者だったら、他の人にうつしてしまう」と懸念し、3週間前から新規の利用客を断っている。13室の利用者は、全員が長期間寝泊まりしている人たちだ。

オーナーは店から仕事に向かった利用者の帰りを待ちながら、住居がない人向けの支援制度を自ら調べ、印刷した紙を用意。戻ってきた人を一人ひとり呼び出し、「仕事の合間に電話してほしい」と支援窓口への相談を促した。



仕事を終え、長期滞在中のネットカフェの個室でテレビを見る男性＝10日午後、東京都

利用者全員が次の住まいに移ったのを見届けるまで、開店を続ける予定だ。オーナーは「寒さが残る中、追い出すわけにはいかない。ここで寝泊まりしてもらっている限りは、私の責任で利用者を守る」と断言した。

「早くここを出てもらわないと、社長も困っちゃうってことですよね？」。静まり返った店内で建設業の男性（53）に問われたオーナーは、男性を見詰めながら首を縦に振った。再開時期を聞かれると、「いつになるかは分からないが、落ち着いたらまたやる。そうしないと皆が困るから」と応じた。しばらく沈黙した男性は「分かりました」と答え、部屋に戻った。

男性は2年半前からここに月6万円ほどで寝泊まりしながら、都内の建設現場で働いている。店の休業後は「都外の地元に戻る」と話すが、「地元には高齢の親族もいる。万が一、私が感染者ならうつしてしまうかもしれない」と不安を口にする。

それでも男性は「帰る所がある私は幸せな方」と話す。「この中には、追い出されると行き場がない人もいるはず」。店内で擦れ違いざまに会釈を交わす他の利用者を思いやった。

学会声明「救急医療の崩壊実感」 急患治療に支障

2020/4/11 11:38 (JST)4/11 11:51 (JST)updated 共同通信社

日本救急医学会と日本臨床救急医学会は11日までに、新型コ

新型コロナウイルス感染症への対応で救急医療体制が危機的状況にあり、他の救急患者の治療に支障が出ていると指摘する声明を発表した。医療崩壊の最初の兆候は「救急医療体制の崩壊」だが、「これは私たちが既に実感している」と強調している。

救急隊から依頼されても、発熱や呼吸器症状を訴える患者を受け入れる病院が少なくなっており、肺炎の疑いのある患者は救命救急センターで受け入れざるをえないと指摘。本来の重症救急患者の受け入れが難しく、心筋梗塞や脳卒中などの緊急を要する疾患の治療のタイミングを逃す恐れがあるとしている。

共産・田村氏「布マスク配布でなく医療機関の支援を」

朝日新聞デジタル 2020年4月10日 17時35分



再利用 | 会見する共産党の田村智子政策委員長

共産・田村智子政策委員長（発言録）

446億円という費用を使って国民にマスクを配布する政策は、どういう考え方でこれをやるのか説明がほとんどない。まず国がやるべきことは何なのか。一つは、医療機関が本当に切迫している。医療崩壊が起き、院内感染の防止ができなくなったら大変なことになる。医療機関のためにマスクやガウンなどの備品を、必要な分を国が買い上げて、配布するというような予算の使い方をやってほしい。（10日、記者会見で）

共産、国民全員に10万円給付を 小池書記局長が政府対応批判

2020/4/11 18:33 (JST) 4/11 19:26 (JST) updated 共同通信社



静岡県富士宮市で街頭演説する共産党の小池書記局長＝11日午後

静岡県富士宮市で街頭演説する共産党の小池書記局長＝11日午後

共産党の小池晃書記局長は11日、静岡県富士宮市で街頭演説し、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて生活困窮世帯に限り30万円を給付する政府対応を批判した。「みんな苦しんでいる。国民全てに1人10万円以上の給付金を届けるべきだ」と述べた。

年収や家族構成によって給付対象に該当するか異なってくる政府の支援策について「制度が複雑すぎて分からない。国民を分断するようなやり方は最悪だ」と指摘。緊急事態宣言に伴う外出自粛や休業要請に関しては「自粛と補償がセットでなければならない。補償なき緊急事態宣言では命を守れない」と訴えた。

しんぶん赤旗 2020年4月12日(日)

国民の命 本気で守る政治に コロナの前後 日本が変わったと言えりたたかいに 衆院静岡4区補選 小池書記局長が応援

衆院静岡4区補選の告示（14日、26日投票）が迫る中、野党統一予定候補として奮闘する田中けん氏（42）＝無所属＝の議席を何としても勝ち取ろうと、日本共産党の小池晃書記局長は

11日、静岡入りし、街頭から田中候補必勝を呼びかけました。



（写真）田中けん予定候補

（右）の応援に駆け付けた大串博志立憲民主党幹事長代理（左）と小池晃書記局長＝11日、静岡県富士宮市

富士宮市のJR富士宮駅前では、田中氏と、立憲民主党の大串博志幹事長代理、「市民連合しずおか」の小長谷保事務局長とそろって訴えました。

田中氏は、中小企業の声を聞き、政治の力で暮らしを変えよとの自身の原点を語り、「新型コロナウイルス対策も命と暮らしがかかったまさに政治の出番。助けを求める声に迅速に応える。野党と市民が一致したこのチャンスで安倍政権打倒を実現していく」と力を込めました。

大串氏は、「安倍政権のコロナ対策は後手後手だ。こんな国政のあり方はおかしいとの声を田中氏に託してほしい。補選は安倍政権が是か非かを問う注目される国政選挙。一致団結してたたかおう」と呼びかけました。

小池氏は、5野党・会派と市民連合が▽新型コロナ拡大防止と家計や中小企業の支援に重点を置いた大型の経済対策▽浜岡原発の再稼働を認めない—などの共通政策を確認したことを紹介し、「一つの選挙区の選挙で、全野党が政策確認文書に署名したのは初めて。絶対に負けるわけにはいかない」と訴えました。

小池書記局長は「安倍政権の暴走が続き、新型コロナ感染が広がる中で国民の命と健康、暮らしを守るには政治を変えなければいけない。こういう時こそ国政に対する信を問うことが必要です」と強調しました。

小池氏は、安倍政権の新型コロナ感染拡大防止対策について、自粛要請と補償がセットでないのが最大の問題だと指摘。さらに、現金給付に線引きを持ち込むことについても、「みんなが苦しんでいるときに国民の中に分断を持ち込む最悪のやり方だ」と述べ、「田中氏の勝利で、すべての国民に1人10万円以上の給付金をただちに届け、『自粛と補償はセット』という民意を示す選挙にしよう」と力を込めました。

その上で小池氏は、医療崩壊の危機が迫っているさなか、安倍政権が全国424の公立・公的病院の統廃合を進めようとしている問題を告発。地元でも地域医療を担う、共立蒲原総合病院、清水厚生病院、桜ヶ丘病院が統廃合の対象に挙がっていると指摘し、「効率優先で公的病院は減らし、診療報酬を削減してベッドがいとも満床でなければ成り立たないギリギリの医療でやってきたことの矛盾がコロナ問題で噴き出している」と述べ、「国民の命を本気で守る政治に変えていこう。コロナ危機の前と後で日本が大きく変わったと言えりための大事なたたかいが静岡4区補選。どうか田中氏を勝たせてほしい」と強調しました。

小池氏はその後、宣伝車で各地をまわり、勝利を訴え、田中氏の富士宮市の事務所も訪問し、激励しました。

日本共産党の藤野保史衆院議員、井上哲士参院議員も同日、静岡入りし、田中氏勝利を訴えました。

NY、看護師「溺れる」寸前 逼迫するICU病床と人材—日本も準備急務

時事通信 2020年04月11日07時10分



新型コロナウイルスに感染し救急搬送された重症

患者の治療に当たる米ニューヨークのマウントサイナイ医科大学病院の医師たち(Mount Sinai Health System提供)

【ニューヨーク時事】米国で新型コロナウイルスの感染拡大が最も深刻なニューヨーク州の病院で集中治療室(ICU)の人材が逼迫(ひっばく)している。外出規制が奏功し、当初の予想より早く患者数の増加は頭打ちになりつつあるが、各病院のICUは既に本来の病床数以上の患者を受け入れている。医療従事者も足りず、現場の看護師からは「溺れる寸前」と悲鳴が上がる。

◇2週間ずっと満床

「本当に人が足りない。仕事はきつくて状況はどんどん悪くなる。かろうじてまだ溺れていない(持ちこたえている)」。ニューヨーク市ブルックリンにある病院の集中治療室(ICU)で働く20代の看護師の女性は今週、電話取材にこう訴えた。ICUは2~3週間前から満床状態が続き、州の発表では新たにICUに入る患者は減少傾向にあるが、「ずっと満床だから実感はない」と話す。ICU外の患者の容体が急変した場合に対応するため、他の病院への転院などを通じてICUの病床の空きを1床は確保するようにしているという。

ICUの患者はほぼ全員が人工呼吸器を使っており「その状態から回復した例は多くない」。現在最も不足しているのはICUに対応できるスタッフだ。「病院はICUで働けるスタッフの増員なしに病床数を増やした。スタッフの増員はあってもICUにある機器を使えず、研修しようにも患者がいっぱい居て、時間が取れない」と語る。

◇進む病院のICU化

州の現在の入院患者は約1万8300人で病床は足りている。しかし、新型コロナ患者には容体が急変して重篤化しがちな特徴があり、ICUにいる患者は6日時点で約4500人と州本来の収容能力(約3000床)を上回る。各病院は手術室をICUに作り替えるなどして、「病院のICU化」(クオモ州知事)を進めてきた。

州は各病院に最低50%の病床数増加を義務付け、病床確保に努めてきた。しかし、患者や病床が増加する一方で、医療従事者には感染やその疑いで自主隔離になる人もいる。ニューヨーク市は今後、追加で4万5000人が必要と推定し、3日には災害警報を流す携帯電話の緊急速報で、手が空いている医療従事者に協力を呼び掛けた。

◇日本もマンパワー不足

日本集中治療医学会理事長の1日の声明によると、人口10万人当たりのICUのベッド数はドイツが29~30床に対し、死者数が世界最大のイタリアは12床程度。日本は5床程度でさらに少ない。また、コロナ患者に対応するには看護師や人工呼吸器

を扱える医師も不足しているという。

コロナ患者の治療に当たるニューヨークのマウントサイナイ医科大学麻酔・集中治療部の野本功一医師は「特に看護師が逼迫している。ICU増設の結果、もともとICUにいた看護師だけでは全く足りず、(一般病棟の)看護師も急ピッチで訓練している状態」と話す。日米両方の病院で勤務経験のある野本氏は「日本は感染症の専門家やICUに対応できる医師も限られ、マンパワーがもともと足りない。大都市やそれ以外にも感染が広がれば医療崩壊が足音を立ててやってくるだろう」と警鐘を鳴らしている。

「ここは米国だった」 NY野営病院の現場—ICUの看護師語る

時事通信 2020年04月12日07時18分



ニューヨーク市マンハッタンのセントラル

パークに設けられた野営病院(慈善団体サマリタンズ・パース提供・時事)

【ニューヨーク時事】「周囲を見回したら、ここは米国だった」。高層ビルが立ち並ぶニューヨークのマンハッタンで「市民の憩いの場」となってきたセントラルパークに3月末、68の病床を持つ野営病院が開設された。発展途上国での活動経験がある看護師クリステン・ダークさんは、多忙を極める新型コロナウイルスの治療現場が米国にあるという現実にはぼうぜんとなる。

時事通信の電話取材に9日、語った。野営病院を地元の病院と協力して運営するのは、キリスト教系慈善団体サマリタンズ・パース。紛争地や感染症や災害に見舞われた発展途上国などで活動している。

南部テキサス州を活動拠点とするダークさんは、バングラデシュでコレラ患者の対応に当たった経験がある。テントの中の緊張感は変わらない。しかし「最大の違いはテントの外に出て、周囲を見回すとここは米国で、それは今まで直面したことがない現実だ」と強調した。

野営病院とはいえ、集中治療室(ICU)もある。ダークさんはICU担当だ。9日時点で52人が入院し、うち9人がICUにいる。最も若い患者は26歳だ。9日までに3人が死亡した。

感染防止のため患者の見舞いは禁止され「大変なのは患者の家族とのやりとり」と話す。「患者自身で電話できる人もいるが(重症で)できない人もいる」と語る。深刻な患者の家族には早くから、病状が深刻で回復する可能性が低いことを伝えるようにしているという。

日本に対しても「この病気の深刻さを見て言いたいのは、深刻に捉えてほしいということだ。あなたにリスクがなくても、隣にいる人の死につながるかもしれない」と強調した。十分な医療従事者を確保し、感染から身を守る个人防护具(PPE)を準備しておく必要性も訴えた。

トランプ氏「危機の指導者」で突破狙う コロナ被害拡大、戦略に狂い—米大統領選



8日、米ワシントンのホワイトハウスで記者会見するトランプ大統領（AFP時事）

【ワシントン時事】11月の米大統領選でトランプ大統領は、民主党のバイデン前副大統領の挑戦を受ける見通しとなった。好調な経済を追い風に再選を目指した戦略は、新型コロナウイルスの威力を前に吹き飛び、再選の道筋は不透明感を増している。

「オバマ（前大統領）がバイデンをまだ支持していないのは驚きだ。何か問題があるからだろう」。トランプ氏は8日の記者会見で、指名を確実にしたバイデン氏への対抗意識をあらわにした。

トランプ氏の再選戦略はここ2カ月で大きく変わった。政権運営の支えにしてきた株価は、発足当初の水準近くまで下落。失業率は1930年代の世界恐慌並みに悪化するとの見方も出てきた。

当初4月12日の復活祭までに正常化したいと述べていた経済活動も、今は「（正常化の）日付を言うことはできない」とトーンダウン。ウイルス制圧の必要性から身動きが取れない状態が続く。

トランプ氏が狙うのは、同時テロ後のブッシュ（子）元大統領のように、危機にあって支持率を上昇させた例だ。「戦時大統領」を名乗り、3月13日の国家非常事態宣言以降は、土日も関係なくほぼ毎日記者会見に臨む。

だが、CNNテレビが3回にわたって行った連続世論調査では4月上旬、新型ウイルスへの政府の対応を「評価する」と答えた人が41%となり、初めて「評価しない」（55%）を下回った。収束の見通しのない状況と急増する死者で、トランプ氏に対する米国民の視線も徐々に厳しくなっている。

中山氏「トランプ氏、有事でも不安」前嶋氏「バイデン氏は同盟重視」

2020/4/11 1:35 日本経済新聞 電子版

■中山俊宏・慶応大教授



慶応大学総合政策学部教授 中山俊宏

民主党の候補者選びは「誰ならトランプ大統領の再選が阻めるか」が争点だった。バイデン前副大統領を中心に盛り上がったわけではない。左派に支持されたサンダース氏は党全体では「本当に勝てる候補なのか」という疑念があった。

新型コロナウイルスの感染が広がり、民主社会主義掲げるサンダース氏の政策が現状と合致しにくくなった。要職を務めたバイデン氏の安定感に支持が集まった。

トランプ氏が「戦時大統領」として支持を獲得するか国民の信頼を失うかが焦点だ。

大統領選は新型コロナの影響で選挙キャンペーンに制約がある。

バイデン氏は埋没して姿が見えにくくなる。

トランプ氏は連日記者会見などで前面に立っている。支持率は50%に満たず、有事下としては高くない。

新型コロナで適切な対応ができなければ再選は厳しくなる。

外交ではバイデン氏は国際協調や同盟国の重視という米国がかつて引き受けてきた役割を果たそうとするだろう。

在日米軍駐留経費の日本側負担（思いやり予算）は選挙戦で大きな争点にはならない。同盟のパートナーにさらなる役割や負担を求めるといふ流れはどちらが大統領でも変わらない。

今は米国の国際的な課題への関与を国民に納得させるだけのストーリーがない。

■前嶋和弘・上智大教授



前嶋和弘・上智大教授

バイデン前副大統領が序盤の苦戦にもかかわらず民主党候補の指名獲得を確実にしたのは異例のことだ。サンダース氏が打ち出した教育ローンの帳消しや大学無償化などは民主党を割るリスクもあった。中道派で無難なバイデン氏に落ち着いた。

米国内の世論の分断が進んで大統領選は接戦になる可能性が高い。トランプ大統領が新型コロナウイルスの対応で「勝った」と有権者に見られるか「負けた」と評価されるかは大きな分かれ道だ。

外交面ではバイデン氏は同盟国重視の姿勢を訴えるだろう。トランプ氏は同盟を金銭的な価値で見ると。安倍晋三首相とトランプ氏の関係は良好でも同盟自体は不安定だ。

在日米軍駐留経費の日本側負担（思いやり予算）の交渉は2021年3月末が特別協定の期限だが、トランプ政権と協議を始めるので厳しい要求が予想される。

通商に関してはバイデン氏なら副大統領時代に仕えたオバマ大統領が進めた環太平洋経済連携協定（TPP）に戻るかというところではない。雇用面など米国にマイナスというイメージをトランプ氏が作ってしまった。

米国の中国への強硬姿勢はどちらが大統領でも大きく変わらない。中国が「不公正なことをして大国になった」という見方は民主党内でも共有されてきた。米国の「内向き志向」も不可逆的だ。

安保理、コロナで初会合 「結束」表明も具体策なし

時事通信 2020年04月10日 10時29分



国連のグテレス事務総長＝2月4日、ニューヨーク（AFP時事）

【ニューヨーク時事】

国連安保理は9日、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）をめぐり、テレビ会議システムを通じ非公開会合を開いた。安保理がこの問題で会合を開くのは初めて。安保理は会合後、「結束の必要性とともに影響を受けた人々たちに対する連帯を想起した」と表明し、グテレス国連事務総長

の取り組みを支持した。ただ具体策は示されなかった。

コロナウイルスが世界的に拡大する中、安保理ではウイルスの起源をめぐる米中両国の対立を背景に会合が一度も開かれていなかった。会合開催を主導したドイツのホイスゲン国連大使は安保理のこれまでの長い「沈黙」を批判。紛争や人道危機に対する新型コロナウイルスの影響に安保理が対処するよう求めた。

中国の張軍国連大使は会合で「責任転嫁は何も導かない。汚名を着せたり、政治化したりする行為は拒絶されなければならない」と述べ、名指しを避けたが、トランプ米政権をけん制した。これに対し、クラフト米国連大使は、初動が遅れた中国を念頭に「完全な透明性とタイムリーな情報共有の必要性」を強調した。

大林宣彦さん死去 映画監督「転校生」、82歳

時事通信 2020年04月11日09時10分



大林宣彦さん

「転校生」「時をかける少女」などで知られ、独特の映像表現で日本映画に新風を吹き込み続けた映画監督の大林宣彦(おおばやし・のぶひこ)さんが10日午後7時23分、肺がんのため東京都内の自宅で死去した。82歳だった。広島県尾道市出身。葬儀は近親者のみで行い、後日、お別れの会を開く。喪主は妻で映画プロデューサーの恭子(きょうこ)さん。

幼少時から映画に興味を持ち、1977年、「HOUSE ハウス」で劇場映画デビュー。82年には故郷の尾道を舞台にした青春映画「転校生」が大ヒット。「時をかける少女」「さびしんぼう」とともに後に「尾道三部作」と呼ばれた。

他にも「ねらわれた学園」などのアイドル映画から、「廃市」「異人たちとの夏」「漂流教室」などさまざまなジャンルの作品を世に出した。

2007年には舞台を尾道から長野に移してリメイクした「転校生—さよなら あなた—」を監督。近年も地方を舞台に戦争への思いを込めた「この空の花 長岡花火物語」「野のなななのか」を手掛けた。

16年に肺がんが見つかり、闘病しながら「花筐／HANAGATAMI」を撮影。昨年は遺作となった「海辺の映画館—キネマの玉手箱」を完成させていた。

19年文化功労者。

「戦争」背に映像美追求 多彩なジャンル手掛け—大林宣彦監督

時事通信 2020年04月11日13時47分



原爆死没者慰霊碑前で写真に納まる映画監督の大林宣彦さん＝2019年7月26日、広島市中区の平和記念公園

「映画は是と非の間に、虚と実の間に真がある。その真実を僕たちが撮っていく」。「映画は時代を動かす」を持論に多彩なジャンルの作品を世に出した大林宣彦監督。その根底には常に「戦争」への思いがあった。

7歳の時に敗戦を迎え、「戦争で言動が一変した世代と違うことをやらなくてはと思っていた」。最初の活躍の場にCMを選んだのは、「戦争を映してきた35ミリカメラでは撮りたくなかったから」だった。



映画「花筐／HANAGATAMI」の公開を前に、日本外国特派員協会で記者会見した大林宣彦監督(左)とプロデューサーで妻の恭子さん＝2017年12月、東京都千代田区

「映画界の反逆児同士」と評する角川春樹さんと組んだ角川映画では、アイドル映画の枠を超えた斬新な表現で驚かせた。「尾道三部作」では叙情感あふれる映像で故郷を描き、尾道ブームを巻き起こした。そんな数々のヒット作も奥底に込めたテーマは「戦争」で、「僕はずっと同じことをやっていたのね」と話していた。

2016年に肺がんで余命半年と診断されたが、映画への意欲は衰えることなく、戦争に押しつぶされる青春を描いた「花筐／HANAGATAMI」を世に出した。昨年は戊辰戦争からの日本の戦争の歴史を映像美の中でたどる「海辺の映画館—キネマの玉手箱」を完成させ、「戦争を知っている最後の世代が、そのむなしさ、恐ろしさ、残酷さを背後に置いてやってきた」と、次世代へ伝えたい思いを語っていた。

映画監督の大林宣彦さん死去 時をかける少女・転校生

朝日新聞デジタル 2020年4月11日0時56分



大林宣彦さん

「時をかける少女」「転校生」など、叙情性と遊び心を併せ持つ作品を撮り続け、「映像の魔術師」と称された映画監督の大林宣彦(おおばやし・のぶひこ)さんが10日午後7時23分、肺がんのため、東京都世田谷区の自宅で死去した。82歳だった。葬儀は近親者で営み、後日お別れの会を開く予定。喪主は妻でプロデューサーの恭子さん。

広島県尾道市生まれ。学生時代から実験映画を自主制作し、画家の藤野一友さんと作った16ミリ第1作「喰べた人」が63年、ベルギー国際実験映画祭で特別賞を受けた。

82年、中学生の男女の心が入れ替わる「転校生」を発表。翌83年にも、原田知世さんの映画デビュー作「時をかける少女」を尾道などで撮影。この2本と「さびしんぼう」は「尾道3部作」と呼ばれ、多くのファンが尾道を訪れる契機となった。

以後「姉妹坂」「漂流教室」といった娯楽大作から福永武彦原作の「廃市」のような芸術色の強い作品まで、幅広い映画を精力

的に発表。3部作の後も「ふたり」など多くの作品を尾道で撮った。尾道以外にも小樽や長野、臼杵（大分）といった地方都市の風景を魅力的に切り取り、地域興し映画の流行を生んだ。

2012年に公開された「この空の花 長岡花火物語」は太平洋戦争下の空襲と中越地震、東日本大震災を、フィクションとドキュメンタリーをないまぜにして描いた実験作。最後の作品となった「海辺の映画館—キネマの玉手箱」までの晩年の4作は、「絶対的な戦争反対」をモチーフに、全く新しい映画のスタイルを生み出し、「映像の魔術師」の真骨頂を見せた。

中江有里さんら追悼 「人生と映画は同じ。忘れません」

朝日新聞デジタル 2020年4月11日 12時04分



中江有里さん=村上健撮影



「転校生」「時をかける少女」「さびしんぼう」の尾道三部作などで知られる映画監督の大林宣彦さんが10日に亡くなったことが報じられると、出演した俳優や映画監督は自身のツイッターに追悼の言葉を書き込んだ。

「時をかける少女」で鮮烈な映画デビューを果たした俳優の原田知世さんは、「大林宣彦監督 在りし日のお姿を偲（しの）びつつ、ご冥福をお祈りいたします」と悼んだ。

新・尾道三部作の第1弾「ふたり」に出演し、遺作となった「海辺の映画館—キネマの玉手箱」に出演した俳優の中江有里さんは「人生にリハーサルはない。いつも本番。映画も同じだ。大林宣彦監督、ありがとうございました。監督の現場で学んだこと、監督がくださった言葉、忘れません」。

「青春デンデケデケデケ」や、中江さんと同じく「海辺の映画館」に出演した俳優の浅野忠信さんは「大林宣彦監督ありがとうございました。一緒に映画を撮った日々を忘れません」と感謝を述べた。

同業の映画監督からも惜しむ声が相次いだ。

岩井俊二監督は「ちょっとすぐには受け止められない。エネルギーな新作にコメントを書かせて頂いたばかりでした」と記した。

行定勲監督は「『行定ちゃん、次は熊本で撮るから手伝ってよ』と耳打ちされたときは、嬉（うれ）しくて夜も眠れなかった。ご一緒できなかったことが残念でならない。大林さんからはたくさん、映画を信じることを教えられた」とつぶった。

犬童一心監督は「4月10日は、本来、新作『海辺の映画館』の公開日だった。まさに、命を削って、取り憑（つ）かれたように作ってました。大林さん、また、ワインを飲みながら『駅馬車』の話を知りたいです」。

入江悠監督は「大林宣彦監督。色々な映画祭で一緒にさせて頂

きました。上田城下町映画祭では『次は君らの番だよ。映画を守ってね』と。たくさんの映画と言葉を貰（もら）いました。心よりご冥福（めいふく）お祈りします」。

大林宣彦監督、晩年の警鐘 「日本人はなぜ忘れるのか」

朝日新聞デジタル編集委員・石飛徳樹 2020年4月11日 5時00分



大林宣彦さん=2008年

〈評伝〉大林宣彦さん死去

大林さんの最後の作品になった「海辺の映画館—キネマの玉手箱」を試写で見た山田洋次監督がこんな感想を述べた。「監督というのは年を取るほど調子が悪くなるものだが、一番良いものをお作りになった」

戦争と映画。2大テーマを掲げた3時間の超大作には、大林さんの言いたいことがぎゅうぎゅうに詰まっている。まさに集大成と言うにふさわしい。

そもそも前作「花筐/HANAGATAMI」も集大成だった。40年前に書いた脚本の念願の映画化。しかし撮影開始の前日、肺がんで余命を告知され、文字通り命懸けで完成させた。

ここから続き

「海辺の映画館」は久々に故郷尾道に戻り、気軽な娯楽作として作るはずだった。それが出来上がってみると、山田監督も驚く新たな集大成になっていた。

若い頃から大林さんの頭の中には、言いたいことがあふれ出さんばかりにあった。取材の時もそうだ。2時間、3時間は当たり前。大林さんの取材の日は、後の予定を入れないというのが映画記者の常識だった。

それはがんになっても変わらなかった。体と声は小さくなったが、話の長さや熱量はむしろ増していた。「がんなんかで死ぬるか」という言葉も、大林さんなら何だか信じられた。

大林さんは映画でも、すこぶる饒舌（じょうぜつ）だった。1977年、商業映画デビュー作「HOUSE ハウス」から、いや、もっと以前、個人映画の時代から一貫していた。饒舌過ぎて破綻（はたん）してしまうことも、ままあった。しかし失敗作も含めて大林映画は愛された。

70代を迎えた大林さんは2010年代、「この空の花 長岡花火物語」など、商業映画を超越した作品を撮り始める。言いたいことが既成の枠組みに収まらなくなったのだ。晩年の大林さんが言いたかったこと。それは、戦争の記憶の継承と、再び誤った道を進みつつあることへの警鐘だ。

終戦の年に7歳だった大林さんは「日本人はなぜそんなに戦争を簡単に忘れてしまうのか」と憤る。「それはひとごとだからだ」と。「誰もが“自分事”にしなければならぬ。それが出来るのが映画なんだ」と。

大林さんに憧れて映画の世界に入った若者は多い。自分事のバトンは次世代の映画人へと手渡された。（編集委員・石飛徳樹）

大林監督、最後に愛注いだ女優 出会いは涙から始まった



「海辺の映画館—キネマの玉手箱」 (C) 2020 「海辺の映画館—キネマの玉手箱」製作委員会/PSC。中央が山崎紘菜さん



大林宣彦監督は女優を育てる名人だった。小林聡美、原田知世、石田ひかりらを主演に抜擢（ぼってき）し、それぞれ異なる個性を開花させた。そして最後に愛情を注いでいたのが、山崎紘菜だった。3月31日、山崎は大林監督の遺作となった出演作「海辺の映画館—キネマの玉手箱」について、朝日新聞の取材に応じていた。

出会いは2011年、「この空の花—長岡花火物語」。山崎はデビュー間もない高校生だった。「初めてのセリフのある役でした。オーディションでなぜか泣いてしまったんです。それを『いいね』と言って下さって」

以来、14年の「野のなななのか」と17年の「花筐/HANAGATAMI」、そして今回の新作「海辺の映画館—キネマの玉手箱」まで、4作連続で大林映画に出演している。

「お父さんのような存在です。私の成長を見てほしいという欲があります。今回、『大人になったね』と言ってもらえてうれしかった」

「海辺の映画館」では五つの役を演じ分けた。ミュージカルあり、時代劇あり。広島原爆に散った劇団「桜隊」の女優も演じている。「どの役にも愛着がありますが、特に沖縄のパートは思入れがあります」

太平洋戦争末期、愛し合って結婚した夫に召集令状が来る。彼女が演じた妻は敬礼をして夫を送り出す。しかし、夫の留守中に、味方であるはずの日本兵から蹂躪（じゅうりん）されて……。

「切なくて悲しくて、心がえぐられるようでした」。ただ、大林監督は一方で、この妻について「純粋に明るく一生懸命に生きた女性なんだよ」と語っていた。「どんな過酷に見える時代にも青春があり、幸せがある。今の物差しにとらわれすぎないよう気を付けました。大林映画はメッセージを押しつけないんです」

役作り、という意識は持っていないという。「パターン化したくないので、作品によってアプローチを変えています。新しい監督には新しい私を引き出してほしいです」

同じ大林監督でも、毎回変えているんですか？ 「もちろん。監督が日々進化していますから（笑）。置いていかれないように必死です」

大林監督は、がんの治療を続けていた。ただ、医師から余命宣告を受けた後に2本の映画を完成させた。創作意欲は最後まで燃えさかっていた。インタビュー時、山崎は「次はどんな役をいただけるのでしょうか。また、楽しみにお待ちしております」と語っていたが、「次」のオファーを受けることはかなわなかった。

（文・石飛徳樹 写真・伊ヶ崎忍）



やまざき・ひろな 1994年、千葉県出身。2011年、東宝シンデレラ審査員特別賞。主な出演映画に「チア☆ダン」「スタートアップ・ガールズ」など。ハリウッド映画「モンスターハンター」の公開も控える。「海辺の映画館」は公開日未定。

大林宣彦さん、尾道映画は「まち守り」のため 「転校生」舞台、40年後も当時のまま

毎日新聞 2020年4月12日 14時18分(最終更新 4月12日 14時18分)



「海辺の映画館 キネマの玉手箱」の撮影で「OK」サインを出す大林宣彦監督＝広島県尾道市新浜2で2018年7月2日、瀧脇直樹撮影

広島県尾道市出身の映画監督、大林宣彦さんが10日、82歳で死去した。古里への思いと戦争への憎悪を込めた作品の数々と濃厚な人柄をしのび、県内各地からも悼む声が聞かれた。【瀧脇直樹、小山美砂】

尾道3部作の第1作「転校生」の公開から約40年たつが、舞台となった御袖天満宮の階段などは当時の姿のままで、全国からファンが訪れる。大林さんは後に「無駄ではなかった」と述懐している。

「尾道3部作」で知られた大林さん。出身地と併せて語られることが多く「忘れられた尾道が全国に知られるようになった」と「映画のまち尾道」の立役者を自負していた。

ただそれは、知名度の向上が目的だったのではない。古里を開発から守ろうとする「まち守り」であり「古里孝行」だった。歴史を刻む「しわ」を撮り続けたため、かえって一部の市民の反発を招き「もっときれいな所を撮って」と抗議されたこともあったという。

ただそれは、知名度の向上が目的だったのではない。古里を開発から守ろうとする「まち守り」であり「古里孝行」だった。歴史を刻む「しわ」を撮り続けたため、かえって一部の市民の反発を招き「もっときれいな所を撮って」と抗議されたこともあったという。

尾道3部作の第1作「転校生」の公開から約40年たつが、舞台となった御袖天満宮の階段などは当時の姿のままで、全国からファンが訪れる。大林さんは後に「無駄ではなかった」と述懐している。

大林さんは最後の尾道映画で、遺作となった「海辺の映画館 キネマの玉手箱」の撮影を控えた2018年7月、長（うしとら）神社（長江1）で安全を祈願した。過去の尾道映画は、全てこの神社で祈願していた。

宮司の永井利果さん（44）は、父、兄と3代にわたり大役を引き継いできた。「大林さんは宮司になったばかりの私を励ましてくれた。やせていたがまなざしは強く、次回作も来てくれると信じていたのだが」と話す。尾道市の平谷祐宏市長は「映画の魅力、尾道の魅力を全国に発信し『映画のまち尾道』を世に知らしめていただいた」とコメントした。

広島市からも惜しむ声が上がった。市映像文化ライブラリー

(中区)の佐藤武さん(60)は「万華鏡のような世界観。大林マジックで引き込みながら戦争や平和について考えさせる、唯一無二の映画監督だった」と語る。

大林さんは、中区で19年11月に開かれた広島国際映画祭に車椅子で参加した。戦時下の子どもたちを生き生きと描いた「野ゆき山ゆき海べゆき」などが上映され、トークショーではマイクも握った。実行委員会代表の部谷京子さん(65)は「平和や広島への愛を強く感じた」と振り返った。

映画の力信じたロマンチスト 人間愛と反戦への思い 大林宣彦監督死去

毎日新聞 2020年4月11日 20時23分(最終更新 4月12日 01時37分)



映画監督の大林宣彦さん＝東京都世田谷区で2015

年8月10日、宮間俊樹撮影

「花も実もある絵空事」。大林宣彦さんは自身の映画づくりを好んでこう表現した。小さなウソを積み重ねて、大きな真実を伝えるのが映画だと。一つ一つの場面は多くの人々が力を合わせて一から作り上げた虚構だ。しかし誠心誠意ついたウソは、全てが集積したときに揺るぎない真実を表す。

物心つく前から映画と身近に接した。初めて映画を作ったのは、6歳の時に35ミリフィルムに手描きしたアニメーションだったという。前衛芸術活動が盛んだった1960年代、高林陽一さん、飯村隆彦さんらと結成した創作集団「フィルム・アンデパンダン」は映像の最先端を切り開き、今でも実験映画の先駆者として語り継がれる。CMディレクターとして斬新な発想と手法で注目を浴び、手がけた作品は1000本を超えた。

助監督を経て監督になるのが当たり前だった70年代、映画監督デビュー作となった「HOUSE/ハウス」は、企画を持ち歩き自ら売り込んだ。実験映画的な映像手法を駆使したロマンチックなホラー映画は、熱狂的なファンを生む。80年代には薬師丸ひろ子さんや原田知世さんら、生まれたてのアイドルから魅力を引き出し、最大限に輝かせ…

残り346文字(全文832文字)

「とても大切な人」「死期悟っていたのでは」大林宣彦さん死去 郷里・尾道で悼む声

毎日新聞 2020年4月11日 11時08分(最終更新 4月11日 15時05分)



愛用のディレクターズチェアに座り、「海辺の映画館 キネマの玉手箱」を演出する大林宣彦監督＝広島県尾道市新浜2で2018年7月2日午前9時51分、瀧脇直樹

撮影

映画「時をかける少女」などの「尾道3部作」で知られる映画監督、大林宣彦さんが10日、肺がんのため死去した。82歳。葬儀は家族で営む。後日お別れの会を開く。喪主は妻恭子(きょうこ)さん。

◇

故郷の尾道市では逝去を惜しむ声が上がった。

「尾道3部作」など1981年以降の尾道ロケ作品を担当した地元のプロデューサー、大谷治さん(68)は「とても大切な人を亡くした」と肩を落とした。大林監督の尾道ロケ作品は17本を数え、大谷さんは「古里への愛着の表れ」と話す。

映画は世代を超えて共感を呼び、今も全国から多くの大林ファンがノスタルジックな風景を求めて尾道を訪れる。「映画のまち・尾道」を確立したのも大林監督だった。一方で大林監督はロケ地を示す案内板設置には一貫して抵抗。大谷さんは「看板ではなく作品を見てほしい。それが監督の願いだった」と振り返る。

20年ぶりの尾道ロケ作品で反戦をテーマにした「海辺の映画館 キネマの玉手箱」が遺作となった。大谷さんは「死期を悟っていたのではないか。人の思いは時代を乗り越えられるというメッセージを送り続けた」と悼んだ。



2018年の「尾道映画祭」で母校の後輩に平

和について語る大林宣彦監督＝広島県尾道市土堂1で同年2月25日午後3時35分、瀧脇直樹撮影

大林監督は古里にエールを送り続けた。2001年に尾道に唯一あった映画館が閉館した際は、復活へ奔走する若者を激励し、資金を援助した。よみがえった映画館「シネマ尾道」(河本清順館長)などでは今年2～3月に「尾道映画祭」が計画され、大林監督も舞台あいさつをする予定だった。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で中止に。河本館長は「スクリーンは銀色がいいと助言され、映画館の復活をととても喜んでくれた。監督に『お帰りのさい』と言いたかった」と話した。【瀧脇直樹】

18年に大阪で映画祭 ミニシアター代表「さみしい…」

2018年1～3月に大林監督の80歳を記念した「大林宣彦映画祭」を行った大阪市西区のミニシアター「シネ・ヌーヴォ」の景山理(さとし)代表(65)は「さみしい」と言葉を詰まらせた。映画祭では自主製作の「喰(た)べた人」(1963年)をはじめ約40本に上るほぼ全作品を網羅。舞台あいさつに訪れた大林監督は既にかんを患っていたが「観客の前ではシャンとして、トークがどんどん長くなるので止めようとしたら怒るんです。観客を何よりも大事にする方で『映画は見てもらってなんぼ』という思いが誰よりも強かった」と話した。【倉田陶子】

大分3部作ゆかりの元臼杵市長「映画への情熱、最期まで原動力に」

大林さんは「大分3部作」として大分県臼杵市などを舞台にした「なごり雪」を2002年、「22才の別れ Lycoris——葉見ず花見ず物語」を07年に公開した。当時の臼杵市長、後藤国利さん(80)は「朝から晩までいろいろなものを撮っており、映画って

こんなに大変なものなのかとバイタリティーに驚いた。臼杵のことを『いい町だ。いいところがたくさん残っている』と評価してくれた」と振り返った。19年に大林さんが大分市を訪ねた時に会ったのが最後だったといい「映画への情熱を原動力に最期まで頑張られていた」と悼んだ。【辻本知大】

映画監督の大林宣彦さん死去 82歳 「時をかける少女」“尾道3部作”

毎日新聞 2020年4月11日 01時08分(最終更新 4月11日 15時06分)



映画監督の大林宣彦さん＝東京都世田谷区で2018年12月14日、根岸基弘撮影

映画「時をかける少女」などの「尾道3部作」で知られる映画監督、大林宣彦（おおばやし・のぶひこ）さんが10日、肺がんのため死去した。82歳。葬儀は家族で営む。お別れの会を後日開く。喪主は妻恭子（きょうこ）さん。

広島県尾道市の医師の家に生まれた。幼い頃から映画作りに親しみ、成城大在学中から前衛映画運動に参加、実験的な8ミリ映画を数多く製作した。大学中退後テレビCMの演出を手がけながら、自主製作で映画を撮り続けた。CMではチャールズ・ブロンソンを起用した男性化粧品や、山口百恵さん、三浦友和さんを起用したチョコレートなど、多くの話題作で注目された。

1977年、「HOUSE/ハウス」で商業映画デビュー。書き割りの背景と人物を合成するような前衛的な手法を取り込んだホラー映画だった。80年代には角川書店の書籍と映画を連動させるメディアミックス戦略の中でアイドル映画を手がけ、次々とヒットさせた。81年の「ねらわれた学園」で薬師丸ひろ子さん、83年の「時をかける少女」で原田知世さんをスターに押し上げた。自身の故郷である尾道を舞台にした「転校生」（82年）、「時をかける少女」 「さびしんぼう」（85年）は「尾道3部作」として高く評価される。坂の多い町並みを効果的に取り入れたみずみずしい青春映画で、ロケ地は観光名所となった。

その後も大手映画会社と組んだ商業作品と、自身の製作会社による作家性の強い小品を並行させながら、精力的に創作に取り組んだ。いずれも叙情性と人間への深い愛情に裏打ちされた物語が、実験的、先鋭的な映像を用いて描かれる。88年「異人たちとの夏」で毎日映画コンクール監督賞。

近年は大分県を舞台にした「なごり雪」「22才の別れ」、新潟県長岡市が舞台の「この空の花 長岡花火物語」「野のなななのか」など、地域の文化や伝承を取り込み、失われゆく土地の記憶を映画で継承するような作品を手がけてきた。

2017年公開の「花筐（はながたみ） HANAGATAMI」は自身のデビュー作として温めていた檀一雄の小説を40年越しで映画化。撮影開始時に末期の肺がんを公表し、治療を受けながら撮影し完成させた。軍国少年だった自身の体験を時代に重ね、反戦のメッセージを込めた作品だった。尾道を舞台にした20年公開予定の「海辺の映画館 キネマの玉手箱」は遺作となった。

19年に文化功労者。妻恭子さんは学生時代の後輩で、プロデューサーとして創作を支えた。長女の千葉萼（ちぐみ）さんは文筆家。

大林宣彦監督が死去 映画「時をかける少女」「転校生」

日経新聞 2020/4/11 1:27



映画監督の大林宣彦さん

「時をかける少女」など、広島県尾道市を舞台にした青春映画などで知られる映画監督で文化功労者の大林宣彦（おおばやし・のぶひこ）さんが4月10日午後7時23分、肺がんのため東京都世田谷区の自宅で死去した。82歳だった。お別れの会を行うが日取りなどは未定。喪主は映画プロデューサーで妻、恭子さん。成城大在学中から自主映画を製作。大学中退後、米俳優のチャールズ・ブロンソンが「ウーン、マンダム」とつぶやく男性用化粧品のCMや、有名女優のソフィア・ローレンが出演した原動機付き自転車のCMなどが次々にヒットし、「映像の魔術師」の異名をとった。

劇場映画デビューは1977年の「HOUSE/ハウス」で、CMディレクターが映画界へ転身する先駆けとなった。その後、故郷の尾道市を舞台にした「転校生」「時をかける少女」「さびしんぼう」が尾道3部作として人気を集めた。主な作品に「ねらわれた学園」「青春デンデケデケデケ」「異人たちとの夏」など。

地域の映像文化の浸透や後進の育成にも力をそそぎ、北海道・芦別市の「芦別映画学校」、大分県臼杵市の「風の映画学校」の校長をつとめた。またソフトな語り口でテレビのコメンテーターとしても人気を集めた。

2004年紫綬褒章、09年旭日小綬章、19年に文化功労者。肺がん で余命宣告を受けながら撮影を続け、新作「海辺の映画館—キネマの玉手箱」を完成させていた。

映画の町「最大の功労者」 大林さん故郷尾道で惜しむ声

日経新聞 2020/4/11 13:06

「監督がいたから今の尾道がある」。映画監督の大林宣彦さんが10日死去したことを受け、故郷である広島県尾道市のファンや関係者からは惜しむ声が相次いだ。



映画監督の大林宣彦さん

同市では2月28日から3月1日に予定していた「尾道映画祭2020」が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となり、遺作となった「海辺の映画館 キネマの玉手箱」の先行上映がかなわなかった。訃報を受け、徳永修実行委員長は「残念ではない」と悲しんだ。

映画祭には監督も参加予定で、徳永さんによると、昨年11月末に尾道市内の喫茶店で会った際には「爪を立ててでも行く」と意欲を見せていた。徳永さんは「監督の活躍があって、尾道は映画

の町として知られるようになった。最大の功労者だ」と感謝した。「尾道をいつまでも愛してくれた」と語るのは大林作品の長年のファンという竹田美穂さん（61）。母親の実家が映画「転校生」のロケ現場になったことをきっかけに大林作品に親しむようになった。「映画と共にいつまでも名前は残る。ゆっくり休んでほしい」と悼んだ。

「海辺の映画館」でヒロインの一人に抜てきされた新人女優、吉田玲さん（18）＝山口県下関市＝は「映画のことをたくさん教えてくれて、第二のお父さんのような存在だった。どの写真を見ても笑っていて、亡くなったことが受け入れがたいです」と声を落とした。

大林さんの訃報に接し、映画「時をかける少女」に主演した女優、原田知世さんは、ツイッターに「在りし日のお姿を偲（しの）びつつ、ご冥福をお祈りいたします」と投稿した。〔共同〕

大林宣彦監督死去 82歳 尾道3部作、平和を希求

東京新聞 2020年4月11日 夕刊



「時をかける少女」など広島県尾道市を舞台にした青春映画で知られる映画監督の大林宣彦（おおばやし のぶひこ）さんが十日午後七時二十三分、肺がんのため東京都内の自宅で死去した。八十二歳。広島県出身。葬儀・告別式は家族葬を行い、後日お別れの会を開く。喪主は妻でプロデューサーの恭子（きょうこ）さん。

二〇一六年に進行した肺がんが判明し、闘病しながら撮った「花筐 HANAGATAMI」が一七年十二月に公開。遺作となった最新作「海辺の映画館 キネマの玉手箱」は死去した十日に公開予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となっていた。

子どもの頃から8ミリフィルムに親しみ、成城大在学中などに発表した自主製作映画が評価された。一九六〇年代からテレビCMのディレクターとして活躍した。

七七年に「HOUSE」で劇場用映画デビュー。八〇年代に故郷の尾道市を舞台にした「転校生」「時をかける少女」「さびしんぼう」の“尾道三部作”がヒット、小林聡美さんや原田知世さん、富田靖子さんら若手女優を育て、青春期の揺れる心情を描いて人気を集めた。

二〇〇〇年代以降は日本各地の風土をいつくしむように映画を製作。大分県で「なごり雪」、長野県で「転校生 さよなら あなた」、新潟県で「この空の花 長岡花火物語」、北海道で「野のななのか」を撮った。

晩年は非戦、平和を希求する作品づくりに注力。「海辺の映画館」は日本の戦争の歴史をたどる大作で、現代の日本への危機感を訴えていた。

他の監督作に「天国にいちばん近い島」「異人たちとの夏」「青春デンデケデケデケ」など。「SADA」が九八年にベルリン国際映画祭で国際批評家連盟賞。情熱的な語り口で知られ、テレビ

のコメントーターも務めた。〇四年に紫綬褒章、一九年に文化功労者。

「時をかける少女」に主演した原田知世さんは十一日、ツイッターに「在りし日のお姿を偲（しの）びつつ、ご冥福をお祈りいたします」と投稿した。

大林宣彦さん死去 出身地の尾道市で悼む声

NHK2020年4月11日 14時48分



映画監督の大林宣彦さんが、10日夜肺がんのため82歳で亡くなりました。出身地の広島県尾道市では大林さんの死を惜しむ声が聞かれました。

大林さんは、ことし2月から尾道市で開かれる予定だった映画祭に参加し、ステージであいさつをすることになっていましたが、新型コロナウイルスの影響で映画祭が中止となり、参加はできませんでした。

映画祭の実行委員で、尾道市内の映画館の支配人の河本清順さんは「映画館を始めるとき、物心両面にわたって支援していただいた。尾道の映画人の精神的支柱のような存在でした。映画にかける思いをしっかりと引き継いで頑張っていきたい」と話していました。

尾道市内で40年近くにわたって大林さんの映画のロケ場所の選定に携わってきた喫茶店の店主の大谷治さんは「感性にマッチするロケ場所を見つけるのは大変だったが、一緒に作品を作り上げていく楽しさもあった。今は放心状態で何も考えられない」と話していました。

尾道市中心部でも大林さんの死を惜しむ声が聞かれ、美容室を営む74歳の男性は、『尾道3部作』で全国に尾道の名が知れ渡った。観光地として飛躍することになったのは大林さんの功績が大きいと思う。亡くなったのは本当に残念です」と話していました。反戦・平和の思いを最晩年まで表現

大林宣彦さんは、被爆地 広島県に生まれた映画監督として、反戦・平和への思いを最晩年まで作品の中で表現し続け、自身もことばにして語り続けてきました。

4年前の平成28年5月27日、当時のアメリカのオバマ大統領が現職の大統領として初めて被爆地 広島を訪問した日、大林さんは東京都内の自宅でNHKのインタビューに応えました。

この日、オバマ大統領は平和公園で原爆慰霊碑に献花し「われわれは核兵器のない世界を追い求めなければならない」と核兵器の廃絶に向けた決意を表明したあと、参列した被爆者と抱き合い、ことばを交わしました。

この様子をテレビで見守った大林さんは「オバマ大統領と被爆者の方が強く手を握り合った時は、互いにとてもいい笑顔をしていました。未来はこういう笑顔で触れ合おうということば以上のメッセージだと思いました」と歴史的訪問についての受け止めに話しました。

そして、自身の平和への思いを交えながら「平和は人類の永遠の願いであるはずなのに、いまだに実現されません。平和には2つの顔があると思います。1つは『国家の平和』。敵を滅ぼし戦争

に勝つという軍事力の平和です。残念ながら世界中の平和の多くがまだこちらです。一方で、『庶民の平和』は戦争がないという平和です。憲法9条が伝えるのがそれであり、その象徴が広島です。その2つの相反する平和の顔が、きょう広島で出会いました。軍事力による平和のトップリーダーであるオバマ大統領が広島を訪れ、被爆者を前にこのようなスピーチをしたことは、大きな影響をもって受け止められなければいけません。未来を生きる子どもたちにとって、もう僕たちの時代には抑止力や軍事力による平和なんて要らないんだという考え方こそ本当に大切なフィロソフィーです。それをどうつないでいくかは、日本やアメリカ、世界に生きる現在の僕たちの責任だと思います」と話していました。

平田オリザさん「背中を押してくれた」

大林宣彦監督が亡くなったことについて、大林さんのおいで劇作家の平田オリザさんは「子どもの頃から接していて、家族同然にかわいがってもらいました。大林さんはアメリカンな人で、昔からキザなせりふを言ったり、人と握手をしたりしていた。私が子どもの頃から『映画とか演劇は、ゼロからものをつくる神様と同じような仕事なんだ』と話していて、芸術家はこういうキザなせりふを言っているんだと学びました」と思い出を振り返っていました。

また「演劇をやるようになってからもいつも応援してくれて、特に文化政策について私が発言するようになってからも背中を押してくれた。日本の文化政策の後進性をすごく嘆いていました。日本の映画界に対する危機感も持っていて、若手監督の育成に力を入れていましたし、大林組として、スタッフ、俳優に慕われている人でした」と話していました。

「戦争を起こしてはいけない」大林監督の思い演技で伝えたい大林監督の最新作でヒロイン役に抜てきされた山口県下関市の俳優の吉田玲さん(18)は「戦争を起こしてはいけないという監督の思いを伝えてきたい」と述べました。

吉田さんは「もっと一緒に映画づくりに関わっていきたくかった。大林監督と出演者で集まって最新作の舞台あいさつができることを楽しみにしていましたが、本当に悲しい」と監督の死を惜しみました。

そして大林監督との思い出を振り返り「映画の撮影がクランクアップしたときに、監督から『未来は君たちに任せたから』と言われたことを遺言として受け止めています。監督はずっと戦争を起こしてはいけないという思いを映画で伝えていたので、私も演技を通じてそれを伝えていこうという使命感を感じています」と話していました。

そのうえで「大林監督のお別れ会があれば行きたい気持ちですが、新型コロナウイルスがこういう状況なので、天国に向けて手紙を書こうと思います」と話していました。

親交あった映像作家「未来は変えられると」

大林宣彦監督が亡くなったことについて、大林さんと長年親交があった映像作家で早稲田大学名誉教授の安藤紘平さんは『『HOUSE』、尾道三部作、そして晩年の反戦映画とつながっていくが、すべての作品に反戦と平和、映画愛が含まれていた』と指摘しています。

作風については「大林監督の作品は、製作段階では予測できない

ものが、出来上がってみると本当にすばらしい映画になっていて、それが、映像の魔術師たるゆえんです。しかもそこに、確実にはっきりと、自分の思っていることを、うそなく語らなければならぬという思想がありました」と話していました。

また、「映画のいちばんすばらしい特質はハッピーエンドがあることだと話していて、現実世界ではそう簡単にはないハッピーエンドが、唯一、映画の中にはある。すばらしい発明だとおっしゃっていた。映画では歴史を変えることはできないが、未来は変えられるとおっしゃっていた。ユーモアがあって、センスがあって優しく、いつも導くようなことばをもらっていました」と振り返っていました。

そのうえで『『花筐/HANAGATAMI』が大林監督の集大成かと思っていたが、遺作となった今作はさらにその先に進んでいた。『この映画を見たら、未来は君たちが変えなければならない』と、みんなにそれを伝えて旅立っていったような気がして。もしかしたら大林さんは映画の神様なのではないかと思った』と大林さんの死を悼んでいました。

映画監督の大林宣彦さん 肺がんで死去 82歳

NHK4月11日3時52分



映画「転校生」や「時をかける少女」など、若者たちの情感をみずみずしく描いた作品で人気を集め、晩年まで反戦を訴え続けた映画監督の大林宣彦さんが、10日夜、肺がんのため東京都内の自宅で亡くなりました。82歳でした。



大林宣彦さんは広島県尾道市出身で、大学を中退したのち、昭和38年に画家の藤野一友さんと発表した初の16ミリ作品「喰べた人」でベルギー国際実験映画祭の審査員特別賞を受賞しました。3000本を超えるコマーシャルを手がけて新たな映像表現に挑戦し、昭和52年に独特な映像美の映画「HOUSE」で商業映画の監督としてデビューしました。

ふるさとの尾道市で撮影した「転校生」「時をかける少女」それに「さびしんぼう」は「尾道三部作」と呼ばれ、若者たちの情感をみずみずしく描いた作品でロケ地を巡る若者が増えるなど、人気を集めました。

作品の中では若手の俳優を重要な役に抜てきし、小林聡美さんや原田知世さんなどが、一躍、有名になりました。

また、その華麗で独特な映像使いから「映像の魔術師」との異名で知られる一方、映画作りにおいてはスタッフの団結力の強さから「大林組」と呼ばれ、名作を生み出してきました。

平成16年に紫綬褒章、平成21年に旭日小綬章を受章し、去年、文化功労者に選ばれています。

社会派としても知られる大林さんは、作品や講演会で反戦や平和の大切さを訴え続け、特定秘密保護法をめぐる「表現の自由を

守り通さなければいけない」などと訴えていました。

平成28年から製作を始めた「花筐／HANAGATAMI」では、撮影開始直後にがんが見つかりましたが、治療を続けながら作品を完成させ、おとし（平成30年）キネマ旬報ベスト・テンの監督賞を受賞した際には「あと30年は映画を作ります」と意欲を見せていました。

その後、広島に原爆が投下されるまでの日本の戦争をテーマに描いた「海辺の映画館—キネマの玉手箱」が去年秋の東京国際映画祭で公開され、レッドカーペットに登場した大林監督はNHKのインタビューに対し、「皆さんがびっくりするような映画になりました。『これが映画か、映画でこんなことができるのか、すごいな』と驚いてください」と話していました。

映画会社によりますと、大林監督は10日午後7時23分、肺がんのため東京都内の自宅で亡くなったということです。

82歳でした。

「花筐」に見る反戦の思い



大林宣彦さんは晩年、戦争を色濃く反映した作品を続けて作ってきました。

このうち、平成29年に公開された「花筐／HANAGATAMI」は太平洋戦争の足音が迫る中、若者たちの青春と戦争の理不尽さに苦しむ様子を映像美とともに描き出した作品です。

映画で戦争を描く理由について、大林監督は、幼いころの戦争体験と戦争の記憶が忘れられてしまっている危機感にあると、NHKのインタビューで語っていました。

大林さんは幼少期の戦争体験について、「戦争に賛成も反対もないですよ。あるのは日常で、しかもあしたは死ぬのが当たり前だった時代なんです。だから死ぬことも怖くない」と振り返ったうえで、「戦争に負ければ潔く死のうと思っていたのが、日本の大人たちがひょう変しちゃうんです。誰も死なない。誰も反省しない。戦争のことなんか忘れて。僕も間違いだらけの生き方をしてきた。だから自分の間違いを反省してよりいい方向にしようって思って、『すばらしい未来を作ってくれ』と伝えられたらなと思うんです」と話していました。

また、この作品では、戦争と隣り合わせの感覚を感じてもらうため、何度もことばを選び直したといいます。

そのことについて大林さんは、「劇中に出てくる『お母さん、この国はまた戦争を始めました。僕たちはまた死にます』というせりふ。人間というのは戦争の消耗品だから、何度も何度も殺されているんですよ。実感がある人間は実感を伝えなきゃいかん」と指摘していました。

そして、「忘れられた歴史、しかし確かにあった歴史を実感として、わがこととして受け止めることで、もう二度と戦争なんか嫌だということになってくるわけです。死ねないんです、そういうことをちゃんと伝えておかないとね」と、映画作りに対する揺るぎない信念を語っていました。

遺作は新型コロナの影響で公開延期

大林宣彦監督の遺作となった「海辺の映画館—キネマの玉手箱」

は、大林監督が亡くなった10日、全国の映画館で公開される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で公開が延期されています。

大林監督は映画の公開に向けて「太平洋戦争の純真な軍国少年であった体験を元に、様々なジャンルの映画にその思いを潜めつつ『厭戦映画』を作り続けて来ました。時代はいつか、個人映画ばかりになり、僕が願った映画作りの世になりました。その個人の自由と権力者の不自由の証を、愉しんで下されば、と。僕の正体が炙り出されれば、嬉しいかな」などとコメントを寄せていました。

超高速「ジェット」を詳細観測 ブラックホール撮影のEHTで時事通信2020年04月10日13時34分



「イベント・ホライズン・テレスコープ」で観測された約50億光年先の銀河「3C 279」の中心部にあるブラックホールから出るジェット（中央下の明るい部分）。（EHTプロジェクト提供）

国立天文台などが参加する国際共同研究プロジェクトで、史上初のブラックホールの撮影に成功した「イベント・ホライズン・テレスコープ（EHT）」は10日までに、南米チリにあるアルマ望遠鏡など世界各地の電波望遠鏡を連携させた観測で、約50億光年先の銀河中心にある超巨大ブラックホールから超高速で噴き出す「ジェット」の詳細な観測に成功したと発表した。

ブラックホールの周囲には、ジェットと呼ばれる高エネルギーの粒子が光速に近い速度で噴き出す現象が見られる。ただ、昨年4月に発表されたブラックホール撮影の際にもジェットの根元部分の構造は写っておらず、詳細は分かっていた。

EHTは2017年4月、地球から月面に置いたテニスボールを識別できるほどの高解像度で、おとめ座の方角約50億光年先の銀河「3C 279」の中心部を観測した。

その後のデータ解析で、ジェットの根元部分の詳細な構造が判明。少しねじれている形状をしていることや、4日間の観測期間中に形状が細かく変化したことなどが分かった。

幻のラジオ体操第3を習得せよ 立命館大が学生に挑戦状

朝日新聞デジタル阪田隼人2020年4月11日10時00分



「結構ハード」と評判のラジオ体操第3=安西将也教授提供

「幻のラジオ体操第3」を1週間でマスターせよ！——。立命館大学が学生向けにこんな挑戦状を送りつけた。新型コロナウイルスの影響を受けた休講期間中、生活リズムの維持や運動不足解消を狙ったアイデアで、課題をクリアした学生には特典も付いて

くる。

名付けて「春の生活応援！！脱、ぐーたらキャンペーン」。同大学の保健センターが発案した。学内のポータルサイトから200人の参加者を募り、13日から始める。

朝9時までの起床、1日3食（うち1回は野菜を食べる）、10分間の運動ができたかどうかを健康チェック表に毎日記録し、1週間分を提出。5日以上達成できれば、大学の再開後に構内の食堂利用券500円分がもらえる。

ここから続き

自宅で10分でできる運動の一つとして、保健センターが「マスターせよ」と例示したのはラジオ体操第3だ。第3は戦後まもない1年半の間だけ放送された「幻の体操」。だが、2013年に龍谷大学の安西将也教授（公衆衛生学）らが、当時の音源や動作図から復刻し、学生らと普及させようと活動してきた。

保健センターの職員らは就業時に、健康維持のため「第3」に取り組んでいた時期もある経験者。担当者は「単に健康維持に努めてほしいというメッセージだけでは学生に響かない可能性があった。あえて簡単にマスターできない第3の挑戦を呼びかけた」。

体操の紹介動画をセンターに提供した安西教授は、「第1、第2に比べると、曲のテンポも速くハードな動きで若者向き。70年以上前の体操だが、徐々に心拍数をあげて最後はクールダウンさせるよく練られたプログラムだ。外出自粛が求められる中で、生活習慣病やうつ病の予防に適している」と太鼓判を押す。

保健センターはSNSを使った周知にも余念がない。独自のツイッターのフォロワー数は約250（9日現在）だが、センターは、「#脱ぐーたら」をつけるなどして企画周知のリツイートをした学生に、健康飲料をプレゼントするとしており、拡散を狙う。

8日に募集を始めたところ、応募者はすでに200人を超え（10日現在）、「想像していたよりも多い」と担当者。中には「このままだとぐーたら生活になりそうだったが、3日坊主にならないように頑張りたい」と意気込む学生もいるという。

担当者は「下宿している学生も多く、休講期間中は生活リズムが乱れる心配がある。この企画をきっかけに、学生自らそれぞれの#脱ぐーたらをSNSで投稿してもらい、一緒にこの困難を乗り越えていけたらうれしい」と話している。（阪田隼人）

悩んで耐える能力こそ知性 帯木蓬生、ネガティブの勧め

朝日新聞デジタル聞き手・岩田智博

2020年4月12日 15時00分

ソーシャルメディア全盛の中、早急に結論に飛びつこうとして、過激な意見に走ったり、デマの拡散に加担したりしてしまう——。感染が拡大する新型コロナウイルスについてもフェイク情報が出回りました。そんな今だからこそ、「ネガティブ・ケイパビリティ」という考えが注目されています。イギリスの詩人キーツが19世紀に提唱し、答えのない事態に耐えうる能力を指すそうです。なぜ今、「急がず、焦らず、耐えていく」ことが必要なのか。早くからこの概念に注目している作家で精神科医の帯木（ははきぎ）蓬生（ほうせい）さん（73）に、自身の臨床やフランス留学の体験も含めて語ってもらいました。



作家で精神科医の帯木蓬生さんは、福岡県中間市でクリニックを開業している

許されぬ「分からない」

——ネガティブ・ケイパビリティに興味を持った契機を教えてください。

「精神科医になって数年後の1985年ごろ。すべて分からないといけなと思っていた私は、無力感にさいなまれ始めたんです。全力で治療をしても治らない患者さんはいるし、治癒したはずの患者さんが、戻ってくることもあった。その際に論文を読んでいて、ネガティブ・ケイパビリティという概念を知りました。それから臨床が随分、楽になりました。効果が出なくても、踏みとどまり、見届けられるようになりましたから」

ははきぎ・ほうせい 1947年、福岡県生まれ。東京大学文学部仏文科を卒業後、TBS入社。2年後、退社し、九州大学医学部を78年に卒業。精神科医としてギャンブル依存症などに取り組む。作家としては95年に『閉鎖病棟』で山本周五郎賞、2018年には『守教』で吉川英治文学賞など受賞多数。

——改めて、ネガティブ・ケイパビリティについて教えてください。

「そもそも我々が『能力（ケイパビリティ）』と口にする際、想像するのは（肯定的な）ポジティブ・ケイパビリティです。才能や才覚、そして処理や解決の能力などのこと。一方、ネガティブ・ケイパビリティは、その裏返しです。生半可な知識や意味付けを用いて、未解決な問題に拙速に帳尻を合わせない。中ぶらりんの状態を持ちこたえるのです」

「提唱者のキーツは、シェークスピアがその能力があったと指摘しています。だからこそ彼は、嫉妬や野心、愛憎といった人間の心のあやを描ききることができた。紫式部も、この能力があったと私は思います」

——ワクチン接種の是非や原発関係、そして新型コロナウイルスの感染拡大など科学的な知見を基にした冷静な判断が求められる場面でも、ネットを中心に先鋭的な結論に至る人が増えた。双方が極端に振れていて、議論をする共通の基盤さえ、失われている印象があります。

「そうですね。僕は『インターセックス』（集英社）という身体的に男女の区別が付きにくい人たちについての小説も書いた。中間に漂うことやあいまいさは、非常に大事なこと。ツイッターなどのソーシャルメディアが発達して、誰もが意見を表明しないとイケないという強迫観念に駆られているから『わからない』が許されない。物事に対して、『イエス』か『ノー』かを性急に表明せざるを得ないような状況になってしまっています」

——ソーシャルメディア上では価値観の似た者同士が交流し、共感し合うことで特定の意見や思想が増幅されて影響力をもつエコーチェンバーという現象があります。さらにネットでは、AI（人工知能）がこれまでの閲覧履歴などに基づいて、勧めてくる情報ばかりが目に入るようにもなりました。

『とにかく早く、分かってほしい』『自分の答えが正しいと思いた

い』という要請に、世の中全体で走っているわけですよ。AI が勧める情報やネット上の交流などで早急に答えを出すのは、はっきり言って低級な知性の働きだと思う。特定の意見や思想ばかりをネットで見るなら、カルト宗教の洗脳と同じようにさえ、感じます。どんどん凝り固まっちゃっていくだけ」

「AI については、言いたいことがあるんです。AI が人間を超えるシンギュラリティー(技術が人類を上回る知性などを持つ技術的特異点)が早晚、やってくると思われています。ただ現状、想定されているAI は処理や解決の能力といったポジティブ・ケイパビリティを進展させることに特化している印象を受けます。それでは創造性は生まれません。AI がネガティブ・ケイパビリティを学べば本物になると思います。『その案件はすぐには分からないから、1年くらい温めます』くらいのことができるようにならないと、本当の意味で人間を超えたことにはなりません」

「論」に役立たないスマホ

——ソーシャルメディアでは「いいね」や「リツイート」など投稿に対する反応の仕方が限られています。



フェイスブックの本社前にある「いいね」

の看板=2019年5月、米メンロパーク市

「尺度というのは本来、10段階くらいは必要なもの。実際、疾病を持ったりなどで痛みを訴える患者さんに医者は『10段階でどの程度の痛みですか?』と聞く。痛みの有無は決して尋ねません。グラデーションがない中で、迅速な判断をせざるを得ないあり方は問題です」

——ツイッターをやり始めると、自分に好ましい反応が返ってくるような投稿を無自覚にしてしまう傾向があるように感じます。また、若い人たちはLINEのメッセージが来て、「既読」を付けたらすぐに返信しないとイケないと思っている。ツールであるはずのツイッターやLINEに縛られている印象です。そこに熟慮はありません。

「スマホは持っていますが、役に立たないから、私はあまり使わないようにしています。若い精神科医を見ていると、ツイッターで使う140字程度の文章はうまいのに、論文を書けない人が多い。講演やスライドはできて、論文は作成できない。恐ろしい時代ですよ。片言隻句はできて、論が組めないのですから。『スマホの時間はもったいない時間』と思って、意識して付き合うしかないのでしょうかね。関わらない時間は、花や空を見つめたり、美術品を鑑賞したりすればいい」

——ネットですぐ結論に飛びつく人は一定数います。たとえばネット上で、学校では習わなかった「本当の歴史」やメディアが報じない「真実」を知り、悪い意味で目覚めてしまうといったことが日々、起こっています。

「深遠な問題はすぐには分かるはずがないという気持ちが必要ですね。確かに脳には『分かりたい』という性質があるようです。意味付けして理解し、分かったつもりになるとうとする傾向がある。しかし、その言いなりにならないのが、知性。ある事象について、すぐに分からないという状況に耐え、悩む——。悩むということ

は本来、価値がある知的な能力なので、恥じることではないんです」

「分からない方がいいこともある。私は二つのことを思い出します。一つは精神科医になりたての時です。患者さん本人は、入院したくないが、家族は大変で、入院させたいというケースがあった。それぞれの意向を調整して、患者を納得させてと再三すったもんだして、入院にこぎつけた。すると先輩の医師から『そういうのは、すったもんだ療法と言うのだよ』と声をかけられた。その時は、いぶかしく思いました。けど後日、その患者さんからは『抵抗を重ねてすみません。治療に入れてよかった』と言われるし、家族からも『助かりました』と感謝された。誰にとってもウィンウィンでした。すんなり入院させる精神科医が能力があると見られるが、本当はそうじゃない。どうなるか分からなくても、すったもんだする過程自体が治療になるんですね。もう一つは留学中のフランスでの体験。仏語があまり分からないから、患者さんの言っていることが聞き取れない。それでも患者さんとは毎日会うので、次第に言いたいことが分かってくる。問題は家族面接。初対面だし、何を言っているか分からなかったから、耳を澄まして聞いていた。すると後で看護師さんから、『家族が丁寧に話を聞いてくれたと喜んでた』と伝えられたんです。分からないままに、できる限りの努力をしたから、相手の気持ちを打ったのですね。分かることは、必ずしも善いことばかりではないと知りましたね」



木下蓬生さんの著書『ネガティブ・ケイパビリティ』(朝日選書)

ひきこもりは「カナリア」

——ひきこもりの「8050問題」が深刻化しています。

「ひきこもりは依然として犯罪予備軍のように言われることがある。本人は引きこもりという形で、答えの出ない中ぶらりんの状態に耐えている。だから周囲は待てばいいのに、できないんですね。社会の側も『怠けている』と反応するばかりで、寛容さが失われています。かつての『高等遊民』のように、ひきこもっている人の中から、とんでもない文化や芸術が生まれる可能性だと思っています。ひきこもりや、ひきこもりで罪を犯した人に対して、自分もそうなったかもしれないという想像力も働いていない。我々はたまたま、こちら側にいるだけ。ひきこもりは、学校や会社といった社会システムの問題に気づいている『カナリア』かもしれないのに……。想像力の欠如の背景には、直観で判断したいし、悩またくないという心理もある。この数十年、様々な場面でハウツーやノウハウが出回り、マニュアル化が進んだことも大きく影響していますね」

——精神医療の世界もそうですか。

「精神医学領域は元来、あいまいさを許容するはずなんですがね。『精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM)』が導入され、症

状から瞬時に病名を判断し、治癒までのロードマップをつくることが要請されてきました。そのマニュアルやデータ偏重の状況に危惧を抱いたのが、イギリスの精神分析医のビオンです。当時の精神分析ではデータから、患者さんが発する言動を『抵抗』や『性的な何か』と解釈していた。その弟子たちの態度を見て、晩年のビオンが持ち出したのが、ネガティブ・ケイパビリティ。精神療法は『知識』を頭から消し去り、『欲望』にとらわれず、我田引水に患者を『理解』しようとしてもいけない——。生まれたばかりの赤子に対するように接することで、交わされる心情と言葉が力を持つと主張したんです」

——答えのない状態に耐えるということですが、そもそも人生に答えはないのでポジティブ・ケイパビリティでは対応できない。

「表層だけ見れば、人生はポジティブ・ケイパビリティのようですが、裏打ちしているのは、ネガティブ・ケイパビリティ。だから悩みや不安があっても、急がず、焦らずに耐えていく。ネガティブを日陰者として排除し、ポジティブだけを称揚している状況がかえって、生きづらくしているように私には見えるんですけどね」(聞き手・岩田智博)

ここは他のダムと違う「大問題になる」 写真家の予感

朝日新聞デジタル原口晋也 2020年4月12日 16時00分
岐路に立つ長崎・石木ダム④

長崎県川棚(かわたな)町の町立石木(いしき)小学校から、猫の耳の形に似た虚空蔵山(こくうぞうざん)が望める。校庭にはノーベル物理学賞の朝永振一郎ら英才が続いた朝永一族をたたえる碑がある。石木ダム建設予定地ではこの霊峰を仰ぎ、一族を誇りにしてきた。



監視小屋の女性たち。機動隊とも闘った

この7人は鬼籍に入った。いまは1~2回り下の女性2人が詰めている=1998年9月11日、長崎県川棚町、大西暢夫さん撮影
水没する川原(こうばる)集落の総代、炭谷猛(すみやたけし)(69)は昨春、水没予定地の住民として初めて町議選に立ち、トップ当選した。直後の議会の一般質問で、こう切り出した。

「我が家の仏壇には宝暦3(1753)年3月29日に没した先祖から累代の位牌(いはい)がある。266年間、世代をつなげて、今の私がいます」



水没予定地の川原集落の総代、炭谷猛=吉本美

奈子撮影

土地収用法に基づき、住民の土地所有権が国に移される前日の昨年9月19日。立ち退きを拒む川原集落の13世帯、約50人が

長崎県知事、中村法道(ほうどう)(69)と面会した。

4世代家族そろって参加したのは、県立川棚高2年(当時)の松本晏奈(はるな)。「ひいばあちゃんと畑で野菜を作り、食べ、田植えをしてきた。帰る場所がなくなるなんて、考えたくありません」と、声を詰まらせながら訴えた。

曾祖母マツ(93)は戦時中、旧海軍が田畑を接収して建てた魚雷工場で働いた。父の好央(よしお)(45)は小学2年の時、ダム建設を急ぐ県が導入した機動隊と対峙(たいじ)した。一家は世代をまたぎ、今も土地の収奪と向き合い続けている。

この間、「援軍」も増えた。13世帯が帰依する福浄(ふくじょう)寺住職、深草昭寿(あきひさ)(67)もその一人。政治問題を嫌う門徒の反対を押し切って支援してきた。13世帯には寺が経営する幼稚園の卒園生が多くいる。

「機動隊に涙を流して立ち向かう好央君らを見捨てられなかった。仏の教えにかなう道だと信じている」。深草はそう語る。



彼岸法要で話をする福浄寺住職の深草昭寿。

40年来、ダム反対住民を支援している=3月20日、長崎県川棚町
写真家の大西暢夫(のぶお)(51)は1998年、全国のダムを巡る旅の最後に石木ダム予定地を訪れた。建設反対の看板群や監視小屋の意気高いおばちゃん……。「敗戦」の気配が濃い他のダム予定地と違い、30年以上続く闘いに衰えの気配がないのが印象的だった。

住民は計画発表時は反対するが、隣人の胸中を察して大勢につき、山を下ることが多い。反対し続けるのは市民団体と相場が決まっていたという。「地権者が反対し続ける石木ダムは将来、大問題になる」。そう予感した。



写真家の大西暢夫(右)は、映像や文章を通して

全国のダム水没集落の思いを伝えてきた=3月11日、岐阜県揖斐川町

2006年、報道写真誌が大西の石木ダムの写真やルポを中心に特集を組んだ。副題は「闘いを継ぐ人々」。水没した村々の無念を託された人々という意味だ。

大西がダム問題に目覚めるきっかけとなった、地元岐阜県の徳山ダムを3月、一緒に訪ねた。旧徳山村を全村水没させて14年前に現れたダム湖は、国内最大の総貯水量6億6千万トン誇る。石木ダム完成時の120倍だ。



土地を売った住民は我が家を壊して出て行

き、ダム反対派住民はそれを無言で見守った=2001年3月3日、長崎県川棚町、大西暢夫さん撮影

水没した8集落の一つ、山手の望郷の碑にはこうあった。〈朝は……分校に通う子どもや山仕事に向かう村人が明るく声をかけ合う……春には残雪の谷にウドを探し、夏は鮎(あゆ)を追う。秋には薪(まき)を取り、長い冬は囲炉裏で栃餅(とちもち)を焼き、雪と過ごす……ふるさと山手はこの湖の底にある〉

運転席の大西がいった。

「千年単位で続いてきた暮らしや、笑顔を、人類史からすれば一瞬の判断で、永遠に水に沈めてしまった」=敬称略(原口晋也)

疎開先で空襲 家において助かった 語り継ぐ戦争

朝日新聞デジタル伊藤智章 2020年4月12日 1時00分



新美幸子さん



新美幸子さん(94) 愛知県半田市

大正14(1925)年に生まれた。熱海のみかん農家出身の父は書生をして学校を出て清水建設(当時は清水組)で住宅設計をしていた。

きょうだいは長女の私、弟2人、妹が1人です。家は東京の大森にあり、よく家族で旅行した。上高地や軽井沢に行き、多摩川の遊園地や高尾山にも登った。銀座のデパートでお子様ランチを食べたり、屋上のブランコに乗ったり。映画もみにいった。母は貸本屋で雑誌「婦人公論」や「主婦之友」を借りてきた。放つてあるのを私も読んだ。

昭和12(1937)年に日中戦争が始まった。南京陥落の時は、ちようちん行列にいった。夜なのに、よく母が許した。小学校の修学旅行は伊勢で、奈良にも泊まった。母がついてきた。13年入学の私立女学校も毎年、旅行があった。

16年12月の太平洋戦争開戦はよく覚えている。朝、父とご飯を食べていたら、ラジオが真珠湾攻撃を告げた。「えっ戦争」。驚いた。

18年3月、女学校を卒業し、有楽町の生命保険会社に入った。スカートで通勤したが、途中からもんぺに替わった。19年12月の東南海地震では勤務先も激しく揺れ、地下に逃げた。当時、同僚から「もうすぐ負ける。戦争が終わるよ」と言われた。父親が新聞社勤務だったそうだ。

父は18年、中島飛行機半田製作所(愛知県半田市)の工員住宅設計のため、半田市に単身赴任した。帰京する時は、米や野菜をたくさん持ってきた。食べきれず近所に配った。

20年3月の東京大空襲後、急きょ半田へ疎開することになった。私がまず一人で向かった。夜行列車は超満員で通路も荷棚もぎっしり。大府駅では、みんなの頭の上を荷物のように手渡しされ、列車を降りた。

家は、市内でも工場から離れた亀崎駅近くの畑の中だった。20年7月の空襲の時は、朝から「きょう危ない」と言われ、私も弟たちも勤めに出ず、家において助かった。近くに爆弾が落ちた。厚さ40センチの土壁の倉庫の3段の荷物棚の一番下に潜り込んだが、下から突き上げるドドドンという衝撃があった。爆風で土壁に穴があき、戸が開いた。

その後、「どうせ負けるね」と言われたが、私は「まだ戦争は続く」と思っていた。終戦の玉音放送は、勤務していた県の疎開事務所で聞いた。空襲にそなえ、建物を取り壊すおじいさんたちが泣いていた。男の人が泣くのを初めてみた。

戦後、食糧事情が悪くなった。近所で野菜を分けてもらった。23年、結婚した。夫はビルマ(現在のミャンマー)からの復員兵だった。弾は撃たないですんだそうですが、(インド攻略作戦で)インパール近くまで歩かされ、仲間が大勢餓死した。現地の人が親切で、「(日本に)家族がいなかったら帰国しなかった」と話していた。戦後は旧国鉄に勤めた。マラリアがぶり返し、よく寝込んだ。「死んだ仲間に申し訳ない」と軍人恩給は受け取らなかった。

父は戦後、清水の名古屋支店に勤め、東京に戻らなかった。私はそのまま亀崎で暮らしている。(伊藤智章)



《中島飛行機半田製作所》 「半田市誌本文編中巻」などによると、1943年1月に稼働し、海軍機約1400機を生産した。最大2万6千人が働き、うち1万7千人は徴用工や動員学徒らだった。44年12月の東南海地震で被災。45年7月の空襲で破壊された。早朝、警戒警報で出勤停止にされたが、死者は260人を超えた。

「中共諜報団」の尋問調書見つかる 研究者「特高の具体的手法分かる貴重な資料」

毎日新聞 2020年4月12日 17時15分(最終更新 4月12日 17時16分)



北九州平和資料館に保管されて

いる特高警察の調書＝北九州市若松区で2020年2月27日午後2時31分、津島史人撮影

思想犯や反政府活動を取り締まった戦前の特別高等警察(特高)が取り調べた「中国共産党諜報(ちょうほう)団」事件の「訊問(じんもん)調書」が北九州市若松区の「北九州平和資料館」に保管されている。首謀者として逮捕された中西功(つとむ)氏(1910～73年)の取り調べ記録で、日米開戦前に中国側へ流された情報や、ゾルゲ事件で処刑された朝日新聞記者、尾崎秀実(ほつみ)(01～44年)とも情報交換していた事実が記されている。研究者は「調書全てがそろい、特高警察の具体的な手法も分かる非常に貴重な資料だ」と評価している。

戦後、共産党参院議員となった中西氏は上海の日系教育機関「東亜同文書院」在学中に共産主義運動に関わり、逮捕時は日本の国策会社「南満州鉄道」のシンクタンク「満鉄調査部」に所属。上海を拠点に日本陸軍などに入出入りし、「同文書院」出身者ら中国各地のメンバーから日本や中国大陸の軍事・経済・外交情報を集めて中国共産党に提供。同党連絡員を含めた情報連絡網が「中共諜報団」と呼ばれた。

警視庁は、ソビエト連邦のスパイ、リヒャルト・ゾルゲ(41年に逮捕、44年処刑)の捜査過程で中西氏らの存在をつかんだとされ、中西氏らのグループは42(昭和17)年6月に一斉逮捕された。

調書は手書き資料の謄写版で、同月から翌43年1月まで計33回にわたり聴取した内容を記載。一問一答形式で、中国共産党との関係▽連絡役に情報提供する方法▽情報内容——などを記録している。

調書によると、中西氏は38(昭和13)年以降、中国共産党に情報提供していた事実を認めた。中西氏らのグループは41年当時「中共組織ノ中ニ深く融合シタ」組織で、日本人責任者を中西氏とし、メンバーは日本人と中国人合わせて7、8人。北京や南京にも支部を持ち、情報は中国共産党の「対日情報組織上海本部」を経て中国共産党・政治保衛局に伝えられていた。当初は上海市内の料理店で連絡員に情報提供していたが、後に中西氏自身が調査機関責任者として連絡員を直接雇用し、連絡を容易にしたという。

中国側に渡された情報は計200件超あり、中国大陸での日本軍の配置状況▽日本軍占領地域の経済状況▽日本政府の外交戦略▽日米交渉の内容——などが含まれた。太平洋戦争開戦2カ月前の41(昭和16)年10月の事項では「日本ハ戦略的ニ極メテ有利デ緒戦ニ於(おい)テ日本ガ敗(ま)ケル事ハナイ」との予想の一方、「併(しか)シ、問題ハ持久化シタ場合ノ日本ノ経済力デ、コノ点ガ日本ノ最大ノ弱点」との指摘も伝えた。開戦直前には「南方進撃部隊ノ編成」として「フィリッピン部隊 本間中將 四ヶ師(4個師団)」といった軍事機密を伝えたことも明らかにしている。

また尾崎との関係では32年、上海から日本へ向かう船中で初

対面し、翌春に朝日新聞大阪本社で会って以降、交流するようになったと供述。「日本国内ノ物資不足」「独逸(ドイツ)トノ軍事同盟問題」など「尾崎ヨリ得タ情報ヲ中共ニ報告シタ事ハアリマス」と述べる一方、「日本ノ在支(中国駐留)部隊ノ駐屯状況ハ判(わか)ルカ」と尋ねられた他、「(当時、国民党政府が本拠地としていた)重慶政治状況」などの情報を提供したという。

ゾルゲ事件に詳しい社会運動研究家、渡部富哉さん(90)＝東京都三鷹市＝は、最初の取り調べで、中西氏と同じ拘置場所に入っていた「林得山」という人物の証人供述に着目する。調書によると、中西氏はこの人物に「中国共産党干係(関係)ノ事実迄(まで)自白シテ仕舞(しま)ツテ全ク取り返シノツカヌ事ヲシテ残念デ仕方ガナイ」と告白。林への面会者に「自分…この記事は有料記事です。

残り1731文字(全文3231文字)

耶馬溪山崩れ2年 「今も受け入れきれない」 遺族ら犠牲者の冥福祈る

毎日新聞2020年4月12日 13時27分(最終更新 4月12日 13時31分)



慰霊碑に手を合わせる藤崎さん

＝大分県中津市で2020年4月11日午前8時44分、宮本勝行撮影

住民6人が犠牲になった大分県中津市耶馬溪町金吉の山崩れは11日、発生から2年を迎えた。現場の慰霊碑には地元住民や遺族らが訪れ、花や線香を供えて犠牲者の冥福を祈った。【宮本勝行】

慰霊碑には、犠牲者6人に復旧工事中の滑落事故で亡くなった現場監督を加えた7人の名前が刻まれ、この日は真新しい花が供えられていた。夫と線香を供えた地元集落の女性は「あの日のことを思い出す。亡くなった人たちに『安らかに眠ってください』と手を合わせた」と話した。

結婚を翌月に控えて亡くなった江沢優さん(当時21歳)の父耕助さん(54)も慰霊碑に花を供えた。妻めぐみさん(当時52歳)とその母、橋本アヤ子さん(同86歳)も亡くなった。「まだ夢を見るようだ。今も受け入れ切れない」と話した。

現場には、優さんの高校時代の担任教諭、藤崎裕二さん(43)の姿もあった。山崩れの1週間前に優さんと偶然会い、妊娠中と知って「元気な赤ちゃんを産んで」と声を掛けたのが最後だった。その際に優さんと撮影した写真を今も大切にしているという藤崎さんは「赤ちゃんとは安らかに眠って」と祈った。

山崩れは2018年4月11日未明に発生。幅約160メートル、長さ約100メートルにわたって土砂約13万立方メートルが崩落し、住宅4棟が全壊し21～90歳の男女6人が死亡した。県は約25億円をかけ、のり面をコンクリート枠で押さえるなどの復旧工事を今年3月27日に完成させた。最大時10世帯26人に出た避難勧告は4月1日に解除された。

中津市は、昨年からこの日を「市の防災を考える日」に制定。奥塚正典市長は「引き続き、自助・共助・公助の連携を強め、災害に強い、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組む」とするコメントを発表した。

「弟らが見てくれている」三回忌終えホッと



「連休明けには作業にかかりたい」

と実家横の水田で話す岩下さん＝大分県中津市で 2020 年 4 月 9 日午前 7 時 10 分、宮本勝行撮影

「2年間は早かった。特に1年目は現実世界にいるという感覚がなかった。被災した家族でないと分からないことです」。市社会福祉協議会に勤務する岩下一行さん（51）は、弟義則さん（当時45歳）と母愛子さん（同76歳）を亡くした。崩落の前月には父を亡くしており、約1カ月の間に親族3人を失った衝撃は大きかった。

今年3月20日には3人の三回忌が終わり、少しホッとした気がしたという。今も3人が見てくれているという感覚は常にあり、朝夕には仏壇に手を合わせることを忘れない。

優しい性格の義則さんをかわいがってくれた地域にできるだけ恩返しをしたいと、義則さんが入っていた地元農協の「麦部会」に災害後に加わった。今後は現場で復旧された約13畝の水田と、別の場所にある13畝の水田で耕作に取り組むことにしている。かつて義則さんが中心となり、自身と2人の兄も手伝っていた水田だ。

田の機械作業は他の人に頼み、水管理や草刈り、収穫などをしていくつもりだ。実家があった敷地には、農機具を置く倉庫を建てたいと思っている。「地域が元の雰囲気になるよう、できることを手伝いたい」と話す。【宮本勝行】